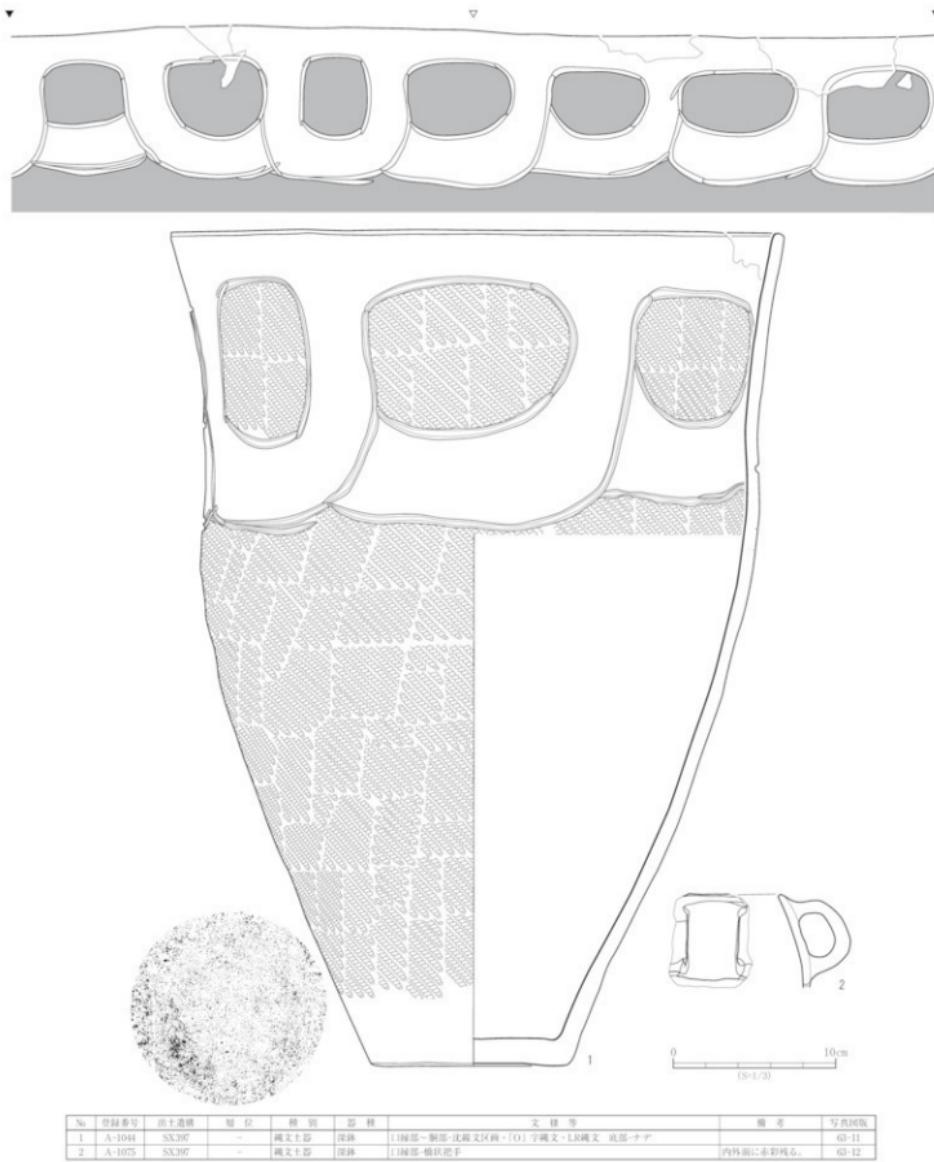


第251圖 級條面明邊機械人連物

第4節 下ノ内遺跡4A区の調査



第252図 SX397埋設土器出土遺物

No.	登錄番号	出土地點	期 位	種 別	形 別	文 様 等	備 考	写真回数
1	A-1044	SX397	-	圓文土器	深鉢	(口縁部-腹部-沈面文区画)-(O) 宇溝文・LR圓文、底部-ナデ		62-11
2	A-1079	SX397	-	圓文土器	深鉢	(口縁部-柄状把手)	内外面に赤鉄残る。	63-12

縄文+R撚糸文)が施文される。文様は沈線文で構成され渦巻文や区画文がみられる。9は浅鉢形のミニチュア土器である。10の土製円盤は、胴部破片を打ち欠いて成形される。

IX層出土土器 (第257図11、図版66)

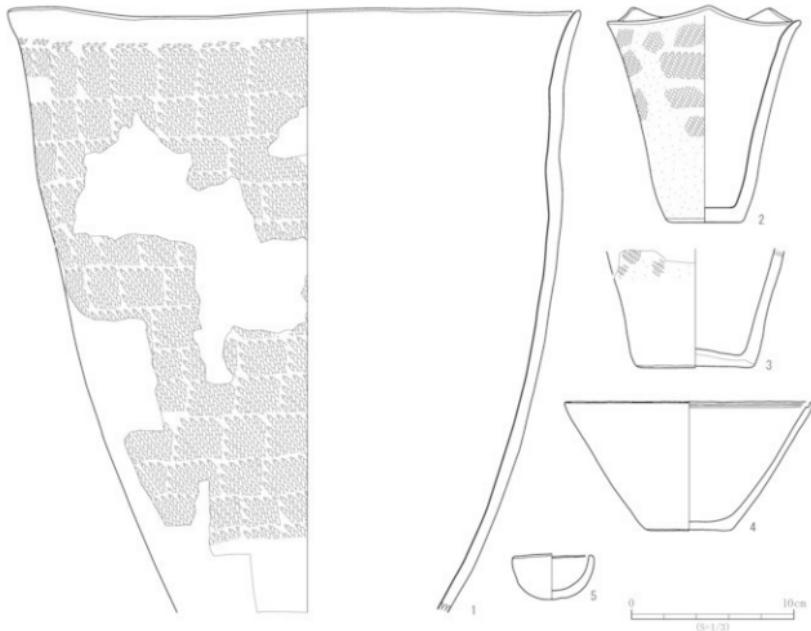
縄文土器1点を示した。口縁部が「く」の字に屈折する鉢で幅狭の沈線の間に縄文が施文される。

X層出土土器 (第257図、図版66)

縄文土器1点、土製円盤1点を示した。第257図12は口縁部が内傾する器形の深鉢で沈線文区画の無文帯を有し、区画内には刺突文が施文される。13の土製円盤は胴部破片を利用し、打ち欠いて成形されている。

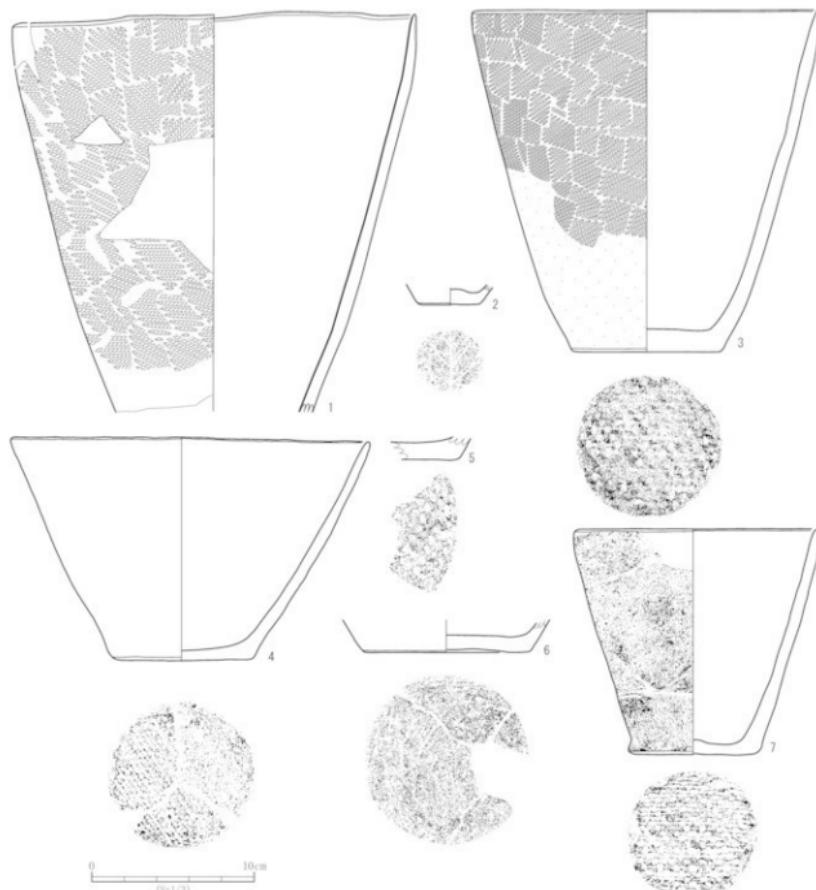
III~VII層出土土器・土製品 (第258図、図版66)

縄文時代の遺構検出面よりも上層から出土した遺物である。縄文土器7点、土製円盤3点を第258図に示した。1・2は山形突起である。1は口縁下に沈線文が巡り、2は幅狭の平行沈線文が巡る。3は平口縁で外面には帶縄文、内面には1条の沈線が巡る。4は小型土器の底部で、笠状の敷物の圧痕が残る。5・6は胴部破片で、6は沈線で幾何学文が描かれ、沈線間の縄文が磨消されている。7~9は土製円盤で、胴部破片を利用して成形されている。これらの土器は文様施文の特徴から縄文時代後期中葉に位置づけられる。



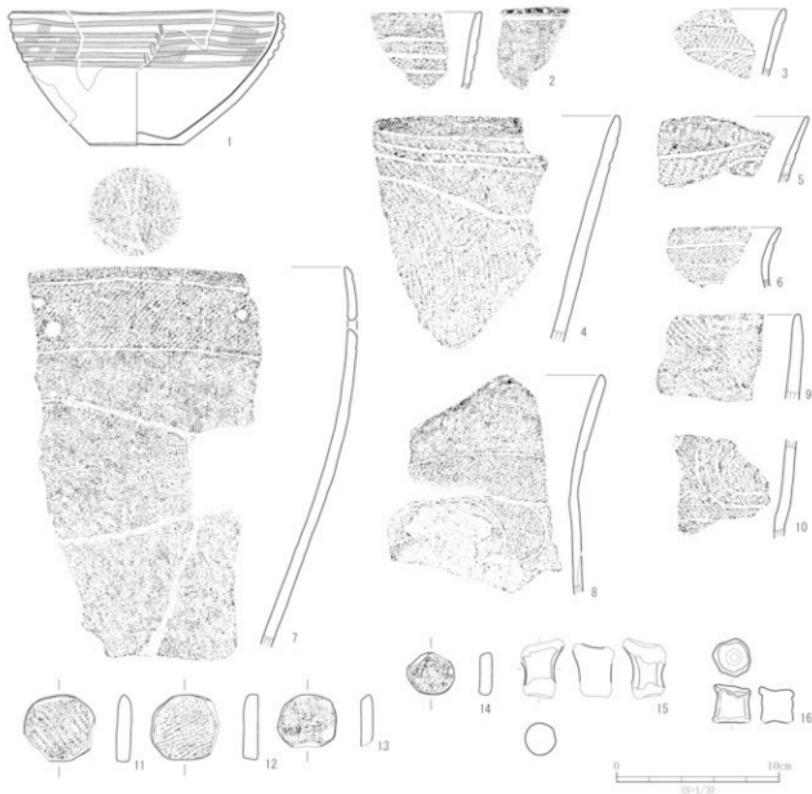
No.	登録番号	類 位	遺構・グリッド	種 別	器 形	文 緑 等	圖 号	写真図版
1	A-802	Ⅸ	W290・S145	縄文土器	深鉢	口縁-胴部-押込縄文・BL縄文		64-1
2	A-1089	Ⅹ	W300・S140	縄文土器	小型土器	口縁-胴部-山形突起-浅鉢・BL縄文		64-2
3	A-1088	Ⅹ	W300・S140	縄文土器	深鉢	胴部-BL縄文-底部-ナデ		64-3
4	A-1090	Ⅹ	W295・S145	縄文土器	浅鉢	口縁-胴部-ナデ-底部-ナデ		64-4
5	P-90	Ⅹ	W295・S145	縄文土器	ミニチュア	ナデ	丸底	64-5

第253図 VII層出土土器 (1)



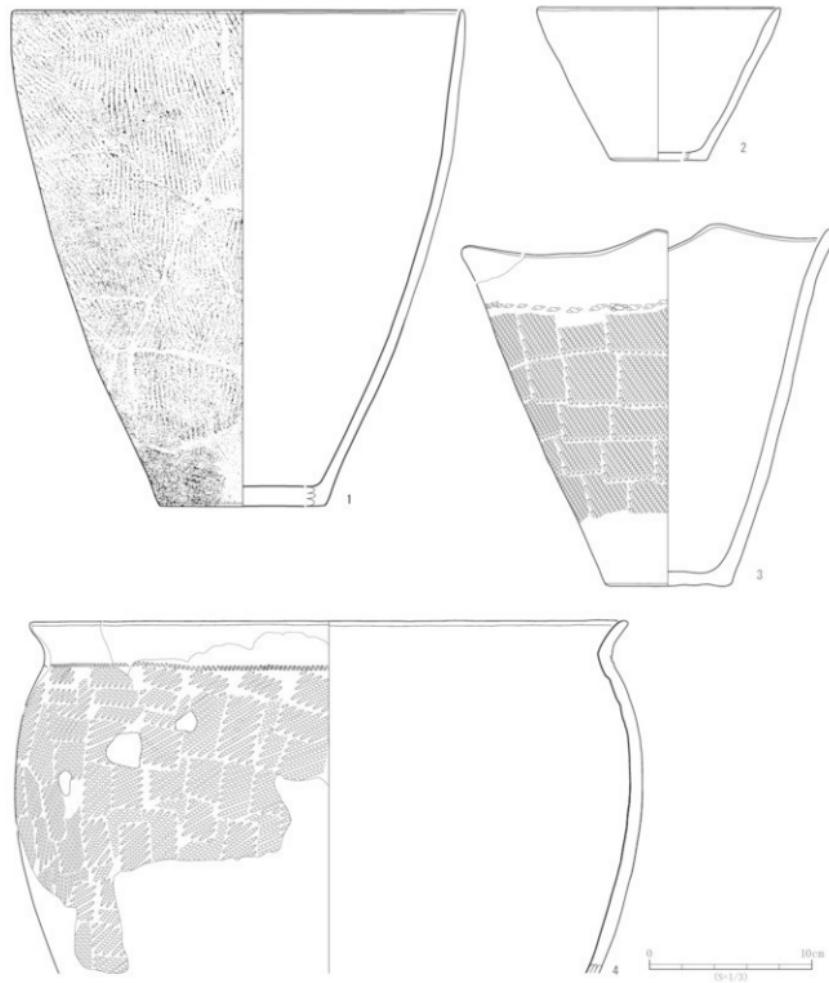
No.	登録番号	場所	遺跡・グリッド	種別	器種	文様等	図考	写真回数
1	A-601	東	W295・S145	绳文土器	深鉢	11層～胴部-LR網文	66-6	
2	A-1079	東	W290・S145	绳文土器	小型土器	底部-木葉柄	中央トレンチ。	66-7
3	A-1043	東	W295・S145	绳文土器	深鉢	11層～胴部-LR網文 底面-網代柄	66-8	
4	A-1038	東	W295・S145	绳文土器	深鉢・宍形	11層～胴部-ナデ 底面-網代柄	66-9	
5	A-1061	東	W280・S145	绳文土器	深鉢	底部-網代柄	-	-
6	A-1081	東	W295・S145	绳文土器	深鉢	底部-ナデ	-	-
7	A-1047	東	W295・S145	绳文土器	深鉢・宍形	11層～胴部-ナデ 底部-網代柄	66-10	

第254図 VII層出土土器（2）



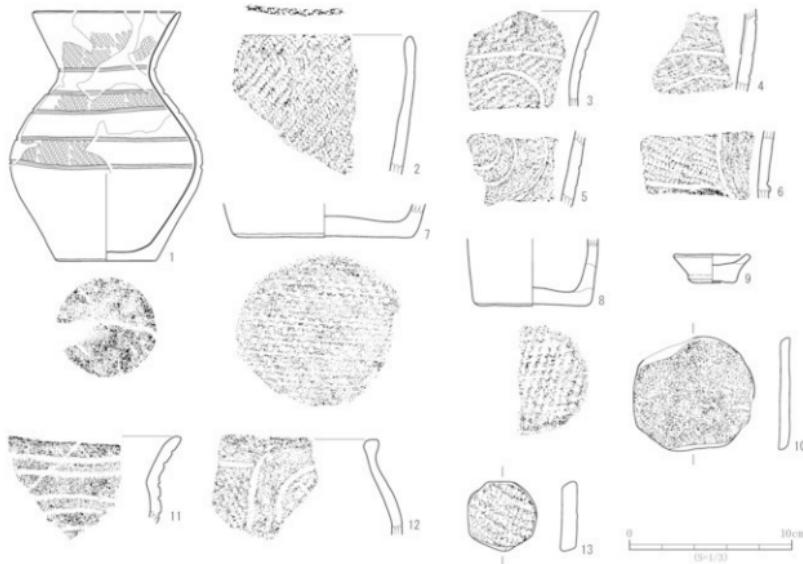
No.	登録番号	類	遺物・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-1037	瓦	W295・S145	圓文土器	瓦鉢	1)縁部-「クランク」状沈文面・LR構文 2)側面部-ナテ・ミガキ 3)底部-網代板	62-1	
2	A-1062	瓦	W280・S145	圓文土器	瓦鉢	1)縁部-平行沈文区画・LR構文 2)側面部内面に沈文面	62-2	
3	A-1078	瓦	W295・S150	圓文土器	瓦鉢	1)縁部-沈文区画・LR構文	62-3	
4	A-1092A	瓦	W295・S145	圓文土器	瓦鉢	波状1)縁・沈文面・LR構文(直前段手捺)	62-4	
5	A-1090H	瓦	W285・S145	圓文土器	瓦鉢	1)縁-網代板 2)縁・沈文面・LR構文	中央トレンチ。	
6	A-1090C	瓦	W285・S145	圓文土器	瓦鉢	1)縁部-沈文面・LR構文	中央トレンチ。	
7	A-1062B	瓦	W295・S145	圓文土器	鉢	縁部-沈文区画・LR構文	縁鉢右3ヶ所あり、内1ヶ所は未貫通。	
8	A-1083	瓦	W200・S140	圓文土器	瓦鉢	1)縁部-山形突起・沈文面・LR構文	62-8	
9	A-1077	瓦	W285・S145	圓文土器	瓦鉢	1)縁部-網代板	62-9	
10	A-1076	瓦	W285・S145	圓文土器	瓦鉢	側部-沈文区画・LR構文	中央トレンチ。	
11	P-90	瓦	W290・S145	土製品	土製円盤	LR構文	41×40×8mm 16g	62-11
12	P-89	瓦	W285・S145	土製品	土製円盤	LR構文	40×38×9mm 18g	62-12
13	P-86	瓦	W295・S145	土製品	土製円盤	ナテ	35×31×7mm 11g	-
14	P-85	瓦	W295・S145	土製品	土製円盤	表面系文	28×25×7mm 6g	62-13
15	P-94	瓦	W285・S145	土製品	不明	ナテ	土製盤か?	62-14
16	P-93	瓦	W295・S145	土製品	耳栓	ナテ	116×23×23mm	62-15

第255図 VII層出土土器（3）



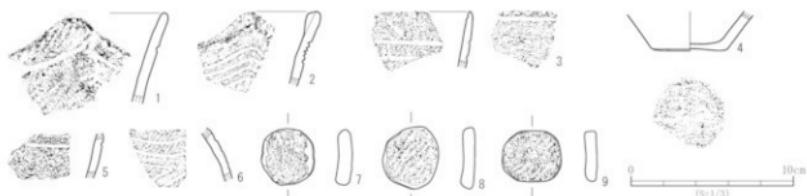
第256図 VII層出土土器

No.	登録番号	種類	遺物・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-1042	罐	W285・S145	陶文土器	深鉢	口縁～胴部上縁文	No.15	62-16
2	A-1067	罐	W300・S140	陶文土器	浅鉢	口縁～胴部 ナデ、ミガキ 胴部 破代板		62-17
3	A-1041	罐	W290・S145	陶文土器	深鉢	口縁部 山形突起、波状口縁、押圧縄文 胴部 RL縄文 肩部 ナデ	No.13	62-18
4	A-1040	罐	W295・S145	陶文土器	深鉢	口縁部 山形縄文 胴部 RL縄文		62-1



No.	登録番号	層・位	遺物・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1	A-1051	Ⅷ	W 290・S145	陶文土器	壺	(1)縦一側面-沈文文、(2)側面、底部-木葉模		66-2
2	A-1063B	Ⅷ	W 290・S145	陶文土器	深鉢	(1)縦-斜形加条文、(2)縦文+別突文		66-3
3	A-1068	Ⅷ	W 290・S140	陶文土器	深鉢	(1)縦-波状文、(2)沈文文区间、LR沈文		66-4
4	A-1057	Ⅷ	W 290・S145	陶文土器	深鉢	側部-沈文文、底部-沈文	内面剥離。	66-5
5	A-1063A	Ⅷ	W 290・S145	陶文土器	深鉢	側部-沈文文、底部-沈文		66-6
6	A-1069	Ⅷ	W 290・S140	陶文土器	深鉢	側部-沈文文、LR沈文		66-7
7	A-1064	Ⅷ	W 290・S145	陶文土器	深鉢	底部-網目模		66-10
8	A-1066	Ⅷ	W 290・S145	陶文土器	深鉢	側部-ナメ、底部-網目模		66-9
9	P-91	Ⅷ	W 290・S145	土製品	ミニチュア	ナメ	浅盤形	66-8
10	P-27	Ⅷ	W 290・S145	土製品	土製門櫓	LR沈文	73×62×7mm 42g	66-11
11	A-1084	Ⅸ	W 300・S140	陶文土器	鉢	(1)縦-側部-波状(1周)、沈文文、LR沈文	器面の摩滅が激しい。	66-12
12	A-1071	Ⅹ	W 300・S140	陶文土器	深鉢	(1)縦-波状文+(2)字状文、別突文、LR沈文		66-13
13	P-84	X	W 290・S140	土製品	土製門櫓	LR沈文	41×40×9mm 21g	66-14

第257図 VII～IX層出土土器



No.	登録番号	層・位	遺物・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1	A-1085	表	表	陶文土器	深鉢	(1)縦部-山形突起、波状(1周)、沈文文、LR沈文		66-15
2	A-1069	Ⅱ-VI	W 285・S145	陶文土器	深鉢	(1)縦部-山形突起、平行沈文文、別突文、網目、LR沈文		66-16
3	A-1072A	VI	W 285・S145	陶文土器	深鉢	(1)縦部-平行沈文文、網目沈文文、LR沈文		66-17
4	A-1058	VI	W 300・S140	陶文土器	小型土器	側部-ナメ、底部-網目模		66-18
5	A-1072B	VI	W 285・S145	陶文土器	深鉢	(1)縦部-沈文文、LR沈文		66-19
6	A-1072C	VI	W 285・S145	陶文土器	壺	側部-沈文文、LR沈文		66-20
7	P-82	V	W 280・S145	土製品	土製門櫓	LR沈文文、ナメ	33×30×9mm 11g	66-21
8	P-88	VI	W 290・S145	土製品	土製門櫓	LR沈文文	37×33×8mm 11g	66-22
9	P-83	VI-VII	W 280・S145	土製品	土製門櫓	LR沈文文	35×30×7mm 9g	66-23

第258図 表採～VI層出土遺物

石 器

VI～VII層出土石器（第259・260図、図版66）

出土した石器は計51点である。器種別の内訳は、石鏃2点、不定形石器8点、二次加工のある剥片4点、微細剥離のある剥片2点、剥片16点、石核2点、磨石1点、凹石4点、石錐12点であり、その内の石鏃2点、不定形石器3点、磨石1点、凹石1点、石錐10点を第259・260図に図示した。本層から出土した石器群の大きな特徴としては、石錐がまとまって出土している点が上げられる。

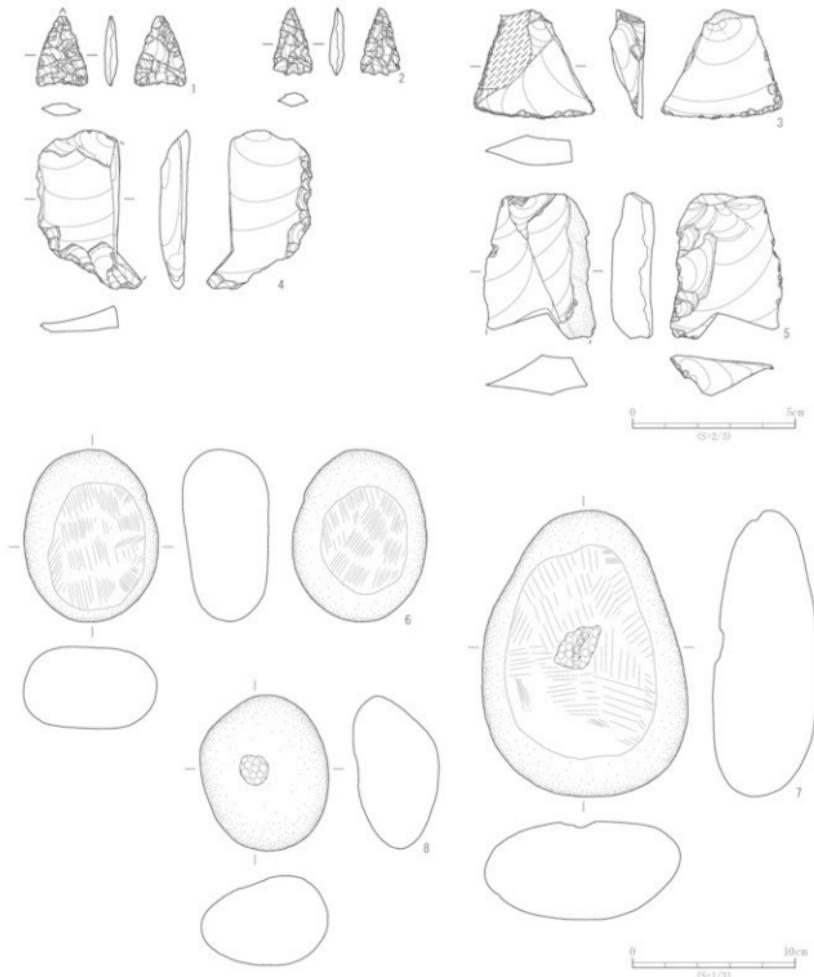
第259図1・2は石鏃である。1は僅かに基部に抉りが認められることから凹基鏃に含め、2は平基鏃とした。調整加工はいずれも表裏に施されるが、2の加工はやや粗い。3～5は不定形石器である。いずれも側縁を中心に連続した二次加工を施して刃部を作出した削器である。4は右側縁を欠損するが、左側縁から下部にかけての二次加工は表裏逆で施されており、裏面左側縁の刃部はやや鋸歯状を呈する。5も下半部を欠損するが、裏面左側縁にやや粗い二次加工を施して刃部を作出している。6は磨石である。やや扁平な梢円錐の表裏に研磨痕が観察される。7・8は凹石である。やや扁平な梢円錐の片面の中央部に1ヶ所の凹みが認められる。なお、7には凹みよりも古い研磨痕が観察される。第260図1～10は石錐であり、W290・S145グリッドからまとめて検出されている。基本的に小型の扁平錐を素材とし、その短軸のほぼ中央部に敲打と剥離による抉りを作出しているものである。1～8は長さ5cm前後の大きさが選択された扁平錐を用いたものであり、両側縁に剥離による調整加工が認められるもので、特に1～4では抉り部の稜線や両側縁の抉り部を結ぶ自然面にすれ状の擦痕が観察されている。また、4～8は長軸の片端部にも剥離や敲打による加工が施されている。9・10は1～8よりもやや大きめの8cm前後の扁平錐を素材とした石錐である。短軸の側縁に加工が施されたものであるが、9では両側縁に剥離と敲打による加工が認められるが、抉り部を作出するまでには至っていない。10は右側縁には剥離と敲打による浅い抉りが認められるが、左側縁には加工が施されていない。

VIII～X層出土石器（第261図、図版67）

出土した石器は計11点である。器種別の内訳は不定形石器2点、石鏃1点、二次加工のある剥片1点、剥片3点、磨石1点、凹石1点、石皿1点、石英原石1点であり、その内の不定形石器2点、石鏃1点、磨石1点、凹石1点、石皿1点を第261図に図示した。1・2は不定形石器である。1は上半部を欠損するが、側縁から下端部にかけて連続した二次加工を施して刃部を作出した削器である。2は削器であり、側縁から下端部にかけて連続した二次加工を施して刃部を作出している。なお、打面部を折り取っている。3は石鏃である。残された素材面から裏面側を表側に用いているものと考えられる。調整加工は全面加工が施された裏面側では器体の中央部に後を持つや急角度の二次加工が施され、正面の剥離は素材面を残すやや平坦な剥離である。刃部の加工が裏面から正面の加工が主体となっており、縱断面形は圓の正面が表面になる片刃状となる。4は磨石である。やや扁平な梢円錐の片面の平坦面に研磨痕が観察される。なお、研磨面の中央には研磨より古い敲打痕が2ヶ所認められる。5は凹石である。やや扁平な梢円錐の平坦面に表面6ヶ所、裏面8ヶ所の凹みが認められる。6は脚付石皿の欠損品である。使用面が皿状に窪む石皿であり、裏面には長さ約7.5cm、幅3.5cm、高さ3.5cmの脚部がやや内側に向かって作出される。欠損品であるために脚部は2ヶ所が残存するだけであるが、本来は4ヶ所の脚部がX字状に作出されていたものと考えられる。また、脚部は粗削後の敲打による整形で作り出されたものと考えられ、底面には擦痕も観察される。

III層出土石器（第262図）

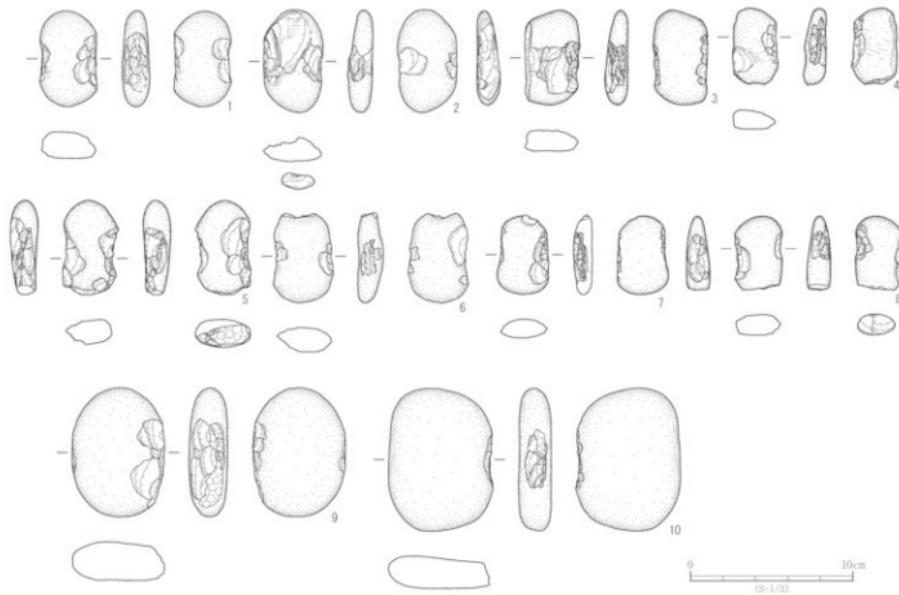
古代の遺構及び包含層から出土した石器は計18点である。器種別の内訳は不定形石器1点、二次加工のある剥片5点、剥片8点、磨石1点、凹石1点、石錐2点であり、そのうち磨石1点、凹石1点、石錐1点を第262図に図示した。1は磨石である。やや扁平な梢円錐の表裏の平坦面に研磨痕が観察される。研磨面には研磨より古い敲打痕が表に2ヶ所、裏面に3ヶ所認められる。2は凹石である。やや扁平な梢円錐の表裏の平坦面に1ヶ所ずつ凹み



No.	登錄番号	類 級	遺構・グリッド	種 別	器種	石 材	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備 考	写真図版
1	Ka-a3-19	Ⅷ	W 290 - S145	打製石器	石器	湖田岩	(2.1) × 1.6 × 0.4 (0.8)		円錐形、先端部欠損。	66-24
2	Ka-a2-4	Ⅷ	W 290 - S145	打製石器	石器	透質頁岩	20 × 1.2 × 0.4 06		平底形。	66-25
3	Ka-e1-33	Ⅷ	W 290 - S145	打製石器	石器	透質頁岩	33.3 × 3.7 × 1.1 85		削芯。	66-26
4	Ka-e1-34	Ⅷ	W 285 - S145	打製石器	石器	透質頁岩	43.8 × (3.5) × 0.9 (9.1)		削芯、右側縫欠損。	66-27
5	Ka-e1-35	Ⅷ	W 285 - S145	打製石器	石器	透質頁岩	(4.4) × (3.4) × 0.9 (1.3) (18.7)		削芯、下部欠損。	66-28
6	Kc-b-27	Ⅸ	W 290 - S145	撲打器	石器	安山岩	10.4 × 8.1 × 5.2 6850		磨+1。	66-29
7	Ke-b-24	Ⅸ	W 290 - S145	撲打器	石器	安山岩	17.3 × 12.3 × 5.9 1631.0		磨1+0、磨1+0。	66-31
8	Ke-b-25	Ⅸ	W 290 - S145	撲打器	石器	安山岩	9.5 × 7.8 × 5.4 4930		磨1+0。	66-30

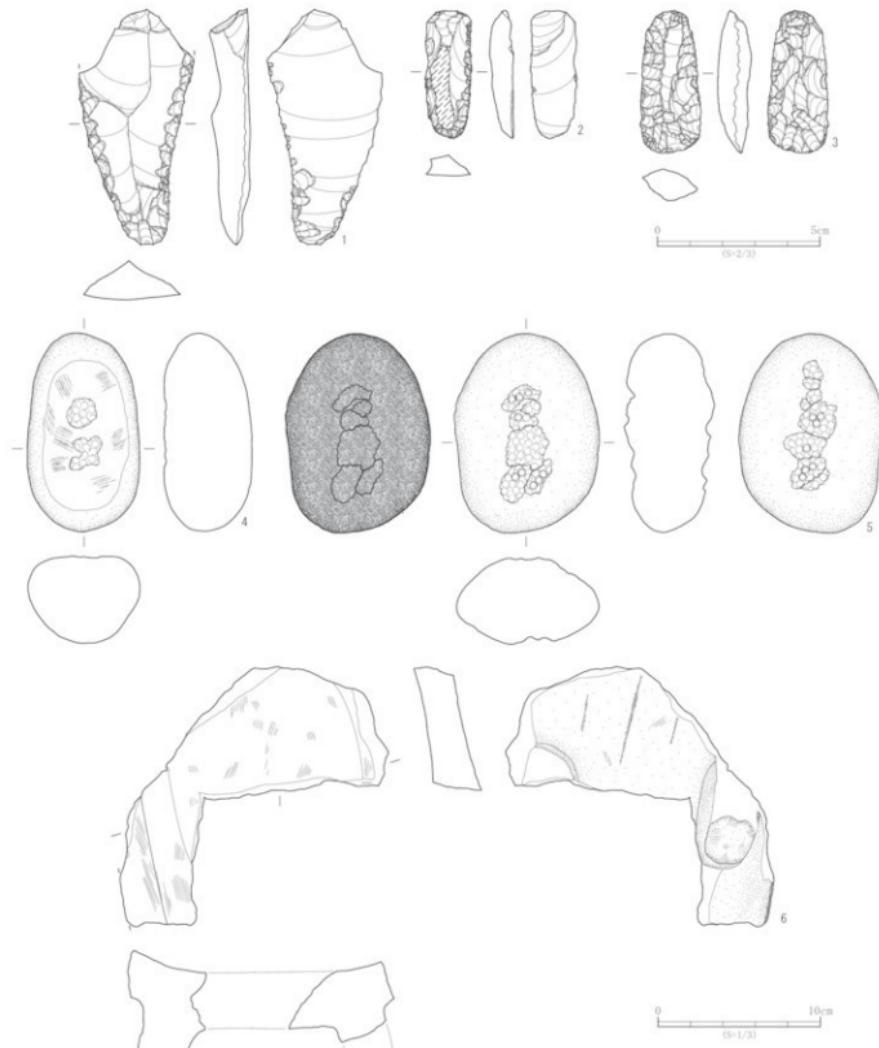
第259図 VI～VII層出土石器（1）

第4節 下ノ内遺跡4A区の調査



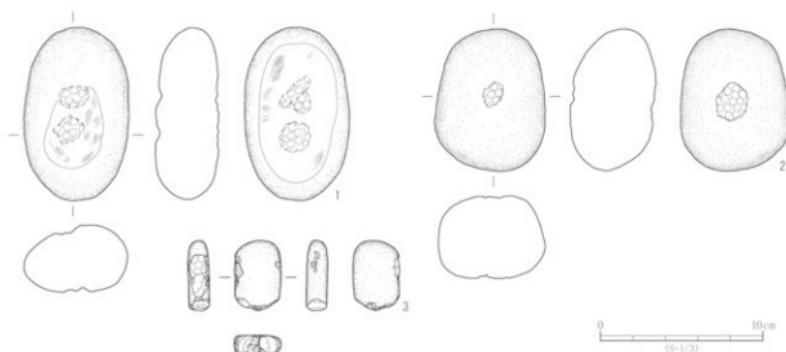
No.	登録番号	層・位	遺構・グリッド	種別	器種	石種	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真図版
1	Kc-e-1	-	-	搬石器	石錐	安山岩	5.8×3.5×1.6	47.0	ひも掛け状の擦痕あり。縦長剥片素材。	⑥-1
2	Kc-e-2	Ⅳ	W 290・S145	搬石器	石錐	凝灰岩	6.2×3.6×1.5	42.0	ひも掛け状の擦痕あり。	⑥-2
3	Kc-e-3	Ⅳ上層	W 290・S145	搬石器	石錐	安山岩	5.8×3.4×1.3	37.0	ひも掛け状の擦痕あり。	⑥-3
4	Kc-e-4	Ⅴ	W 290・S145	搬石器	石錐	安山岩	4.5×2.7×1.3	22.5	ひも掛け状の擦痕あり。	⑥-4
5	Kc-e-5	Ⅳ上層	W 290・S145	搬石器	石錐	凝灰岩	5.7×3.4×1.7	38.4	F面に敲打痕あり。	⑥-5
6	Kc-e-6	Ⅴ	W 290・S145	搬石器	石錐	凝灰岩	5.5×3.7×1.6	36.7	上面に加工あり。	⑥-6
7	Kc-e-7	Ⅴ	W 290・S145	搬石器	石錐	安山岩	4.7×3.1×1.1	23.3	上面に加工あり。	⑥-7
8	Kc-e-8	Ⅳ	W 290・S145	搬石器	石錐	砂岩	4.5×2.9×1.5	27	下端に加工あり。	⑥-8
9	Kc-e-9	Ⅳ	W 285・S145	搬石器	石錐	安山岩	7.8×5.6×2.4	138.0	-	⑥-9
10	Kc-e-10	Ⅳ	W 290・S145	搬石器	石錐	安山岩	8.7×6.4×2.0	381.0	大側面加工なし。	⑥-10

第260図 VI～VII層出土石器（2）

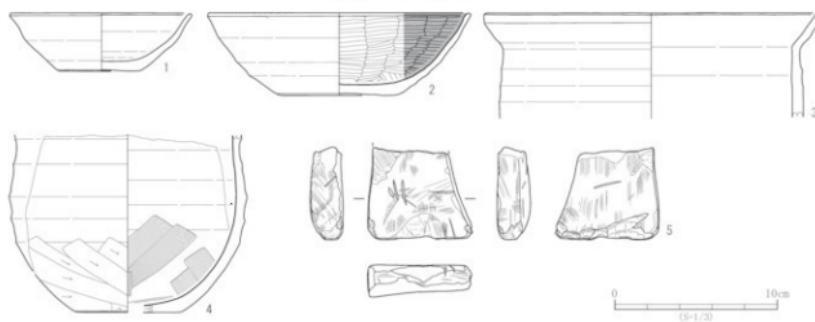


No.	登録番号	層	遺構・グリッド	種別	器一様	石 組	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真図版
1	Ka-e1-36	X	W300-S140	打削石器	不定形石器	球貫自前	(7.1) × (3.5) × (1.2)	(205)	断面、上部欠損。	67-11
2	Ka-e1-27	複-X	W295-S145	打削石器	不定形石器	球貫自前	39 × 15 × 0.8	39	断面、刃部欠損片素材。	67-12
3	Ka-e2-5	X	W300-S145	打削石器	石塊	球貫自前	38 × 1.8 × 1.0	80	平面加工、背面中央部に素材面を残す。	67-13
4	Kc-t-28	B	W300-S140	擦石器	砾石	安山岩	12.0 × 6.8 × 5.5	648.0	磨耗、端2つ。	67-14
5	Kc-t-26	B	W300-S140	擦石器	四石	安山岩	12.2 × 8.9 × 5.5	535.0	磨耗、全面被熱面あり。	67-15
6	Kc-t-6	X	W300-S140	擦石器	石塊	デイサイト	(13.0) × (17.7) × (6.6)	(3260)	脚付石組部分破片。	67-16

第261図 VII～X層出土石器



第262図 III層出土石器



第263図 古墳時代～古代出土遺物

が認められるものである。3は石錘である。凝灰岩の小型扁平砾を素材とし、その側縁に敲打を中心とした加工が施されるものであるが、左側縁の抉りは浅く、右側縁の敲打は形状をほとんど変えるものではない。また、器体の下面部にも加工が認められる。

古墳時代～古代（第263図）

III層から土師器内黒坏小片、赤焼土器片、ロクロ土師器壺片、須恵器壺片、III～IV層から土師器内黒坏片、土師器片、IV～VI層から土師器壺片等が出土している。このうち、表上から須恵器壺1点、III～IV層からロクロ土師器壺1点、壺2点、砾石1点を第263図に図示した。1は赤焼土器である。2はロクロ土師器の壺である。3・4はロクロ土師器の壺である。5は上半を欠損する横断面長方形の砾石である。表裏両側面に顯著な研磨面が観察される。

11. 4B区の調査

4B区では基本層V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、竪穴住居跡1軒、ピット4基を検出した。ピットについては遺構配置図にのみ表示している。

(1) V層検出の遺構と遺物（第266図）

1) 竪穴住居跡

SI398 竪穴住居跡（第264図）

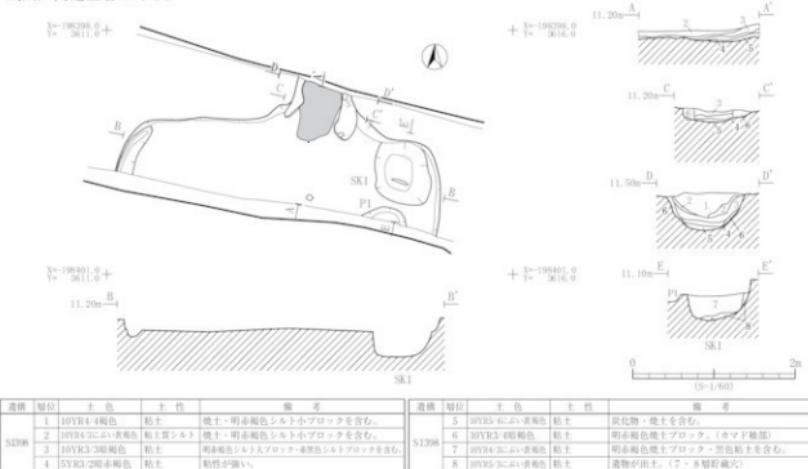
【位置】 W190・N0-S0～N10グリッドに位置するが、北側と南側が調査区域外に延びている。

【新旧関係】 現状では本住居跡と重複する遺構はない。

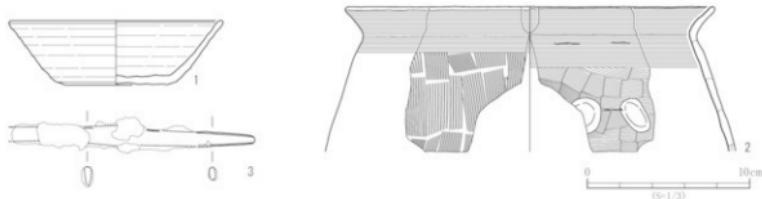
【規模・平面形】 東西は4.05mであるが、南北は不明である。方形を基調としていると思われる。

【主軸方位】 N-8°-Eと考えられる。

【堆積土・構築土】 8層に分層される。1～2層は住居堆積土で、3～6層はカマド関連土層、7～8層はSK1（貯蔵穴）関連土層である。



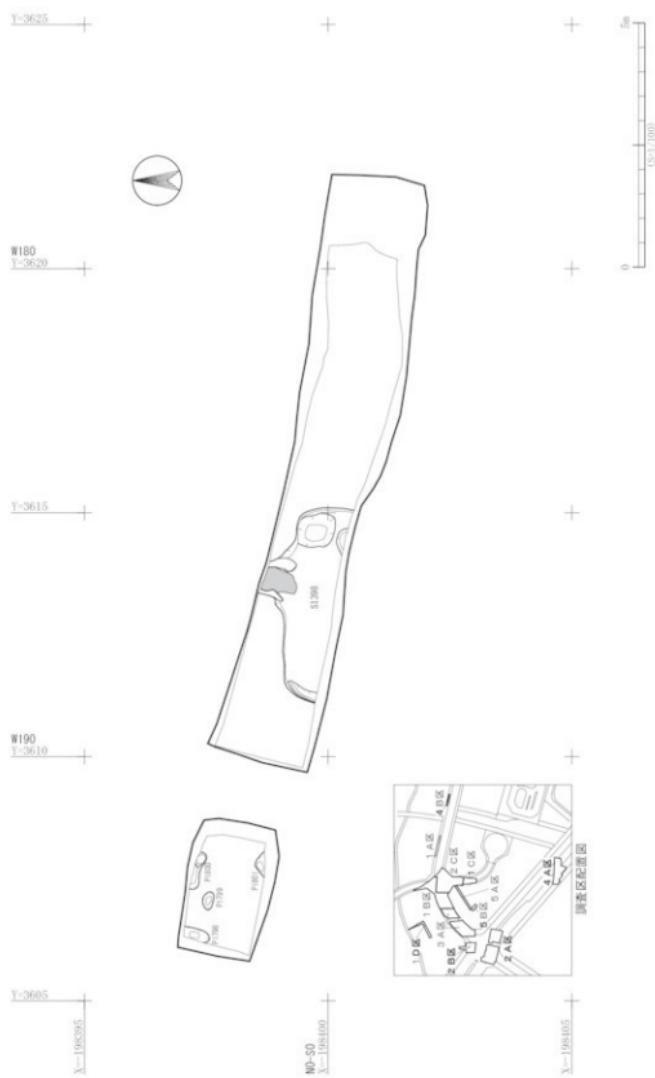
第264図 SI398竪穴住居跡平面図・断面図



No.	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	寸法×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真図版
1	E-29	SI398 SK1	1	鉢	环	12.8×6.2×3.96	ロフテア	底盤ハラ切り	ロフテア	67-23
2	C-66	SI398	-	土器	瓶	[22.4]×××	ヨコナギ	ヨコナギ・ハラメ	ヨコナギ・ハラメ	67-26
3	N-4	SI398	-	鉢	盆	14.9×11×3.0	純長×幅×厚さ(cm)			67-27

第265図 SI398竪穴住居跡出土遺物

第4節 下ノ内遺跡4B区の調査



第266図 下ノ内遺跡4B区V層遺構配置図

【壁面】西壁と東壁の下半はほぼ垂直に立ち上がるが、東壁上半は緩やかになる。壁高は20cmほどである。

【床面】掘り方の底面であるV層を直接床面としている。

【柱穴】ピット1個を検出した。深さは23cmであるが、南側が調査区域外に延びているため詳細は不明である。

【周溝】西壁際から検出した。規模は幅10~18cm、深さは7~11cmである。

【カマド】住居跡北壁中央のやや東寄りに付設される。住居北壁から燃焼部が張り出す形態のものであるが、北側が調査区域外に及んでいることから詳細は不明である。火床面全体に焼土が広がっている。

【その他の施設】住居跡内から土坑1基（SK1）を検出した。

【出土遺物】堆積土から須恵器壺1点、土師器壺1点、刀子1点が出土し、第265図に図示した。1は須恵器壺である。平底で外面に火ダスケ痕がある。2は土師器壺の口縁部片である。3は刀子である。先端を一部欠く。

2) ピット（第266図）

4基のピット（P1798~1801）を検出した。調査区西側のW191・N10に分布している。遺物は出土していない。

(2) 遺構外出土の遺物（第267図、図版67）

4B区ではSI398の混入品として繩文土器が出土し、

第267図に図示した。小波状口縁の浅鉢または鉢で入組文がみられる。繩文時代晩期に属する。



No.	世総番号	層	出土遺物	種	記
1	A-1092	-	-	陶瓦	井
2	-	文 縫 等	-	陶片	写真67b

1108部・小波状口縁・沈瓶文・BL繩文

第267図 遺構外出土遺物

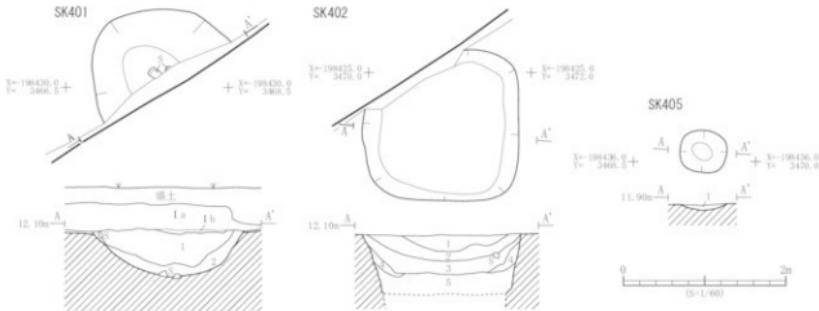
12. 5 A・5 B区の調査

5A・5B区では基本層Ⅲ・Ⅳ層上面（古代～近世の遺構検出面）において、土坑3基、溝跡4条、ピット28基を検出した。V層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において遺構確認調査のみを行い、土坑5基、溝跡4条、ピット38基を確認した。ピットは建物等の組み合わせを検討したが、明確なものは確認されなかった。ピットについては遺構配置図にのみ表示している。

(1) Ⅲ・Ⅳ層検出の遺構と遺物（第271図、図版21）

1) 土 坑

SK401土坑（第268図） W340・S20~30グリッドで検出したが、南側の調査区外へ延びる。平面形は円形または梢円形と思われ、検出した規模は北東から南西185cm、北西から南東90cm、深さ57cmで、壁面は開きぎみに立ち



遺構	層	土 色	土 性	圖 号	遺構	層	土 色	土 性	圖 号
SK401	1	10YR3-20H褐色	シルト	マンガノ粒・黒褐色シルトブロックを多く含む。	2	10YR4-4褐色	シルト	黄褐色シルトブロックを多く含む。壁(20mm厚)を少し含む。	
2	10YR4-20H褐色	シルト	マンガノ粒を多く含む。黒褐色シルトブロックを多く含む。前面の土塊(φ100mm程)を含む。	3	10YR4-1褐色	シルト	一部に黒褐色シルトブロック(φ200mm程)を含む。		
SK402	1	10YR3-20H褐色	シルト	黒褐色シルトをやり含む。	4	10YR3-3褐色	シルト	黒褐色シルトをやり含む。	
SK405	1	10YR3-2褐色	シルト	黒褐色シルトブロックを少しある。	5	10YR3-2褐色	シルト	黒褐色シルトブロックを少しある。	
		10YR2-3褐色	シルト	地土粒を少量、炭化物ブロックをやや多く含む。	6	10YR2-3褐色	シルト	地土粒を少量、炭化物ブロックをやや多く含む。	

第268図 SK401・402・405土坑平面図・断面図

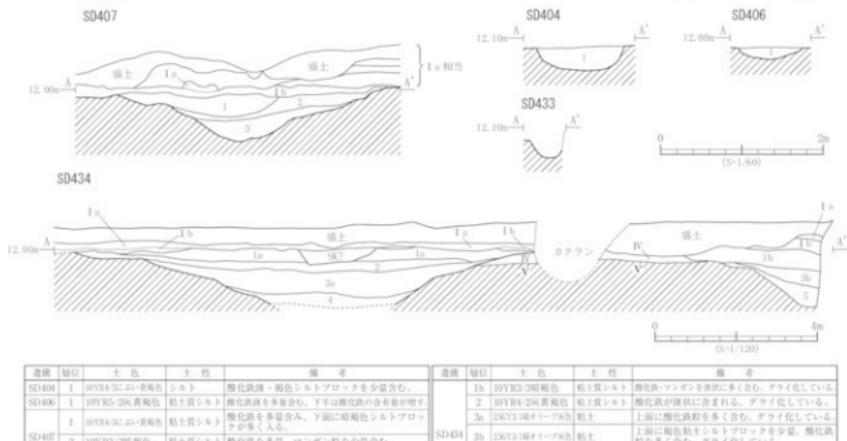
上がる。断面形はU字形で、底面は擂鉢状である。堆積土は2層に分層される。遺物は出土していない。

SK402土坑（第268図） W330~340・S20グリッドで検出したが、北西側の調査区外へ延びる。平面形は隅丸方形と思われ、規模は一辺195cmである。深さは70cmまで掘削したが、それ以下は掘削していない。壁面は急角度で立ち上がり、断面形は逆台形と思われる。堆積土は深さ70cmまで5層に分層される。遺物は出土していない。

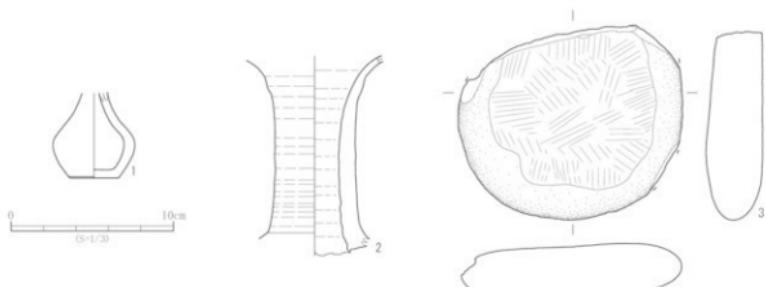
SK405土坑（第268図） W340・S30グリッドで検出した。平面形は楕円形で、長軸方向はN-88°-Wである。規模は長軸58cm、短軸50cm、深さ5cmで、壁面は緩やかに立ち上がる。断面形は皿状で、底面は擂鉢状である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

2)溝跡

SD404溝跡（第269・271図） W330~340・S20グリッドで検出し、P1802・1803と重複関係にあり、本遺構が

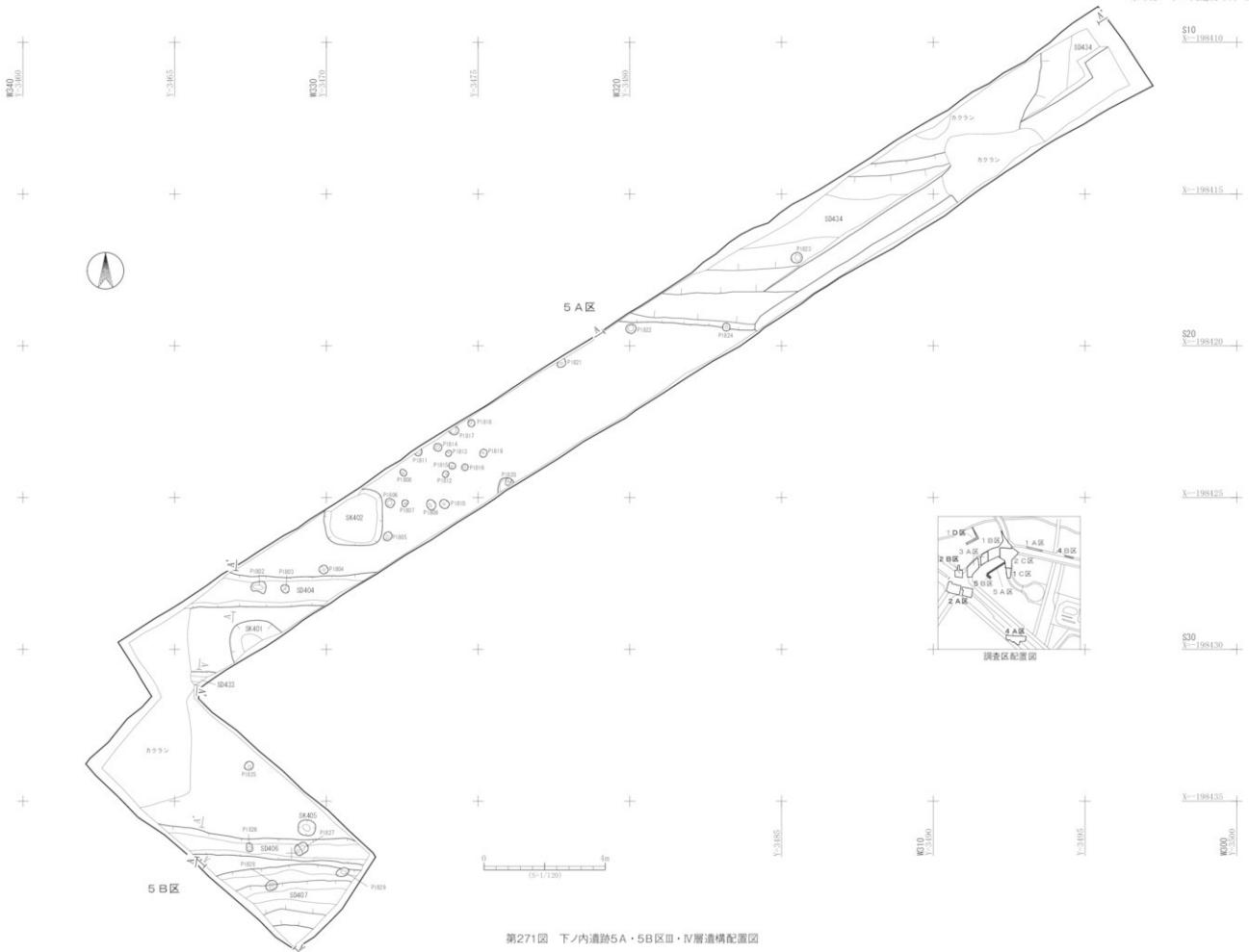


第269図 SD404・406・407・433・434溝跡断面図

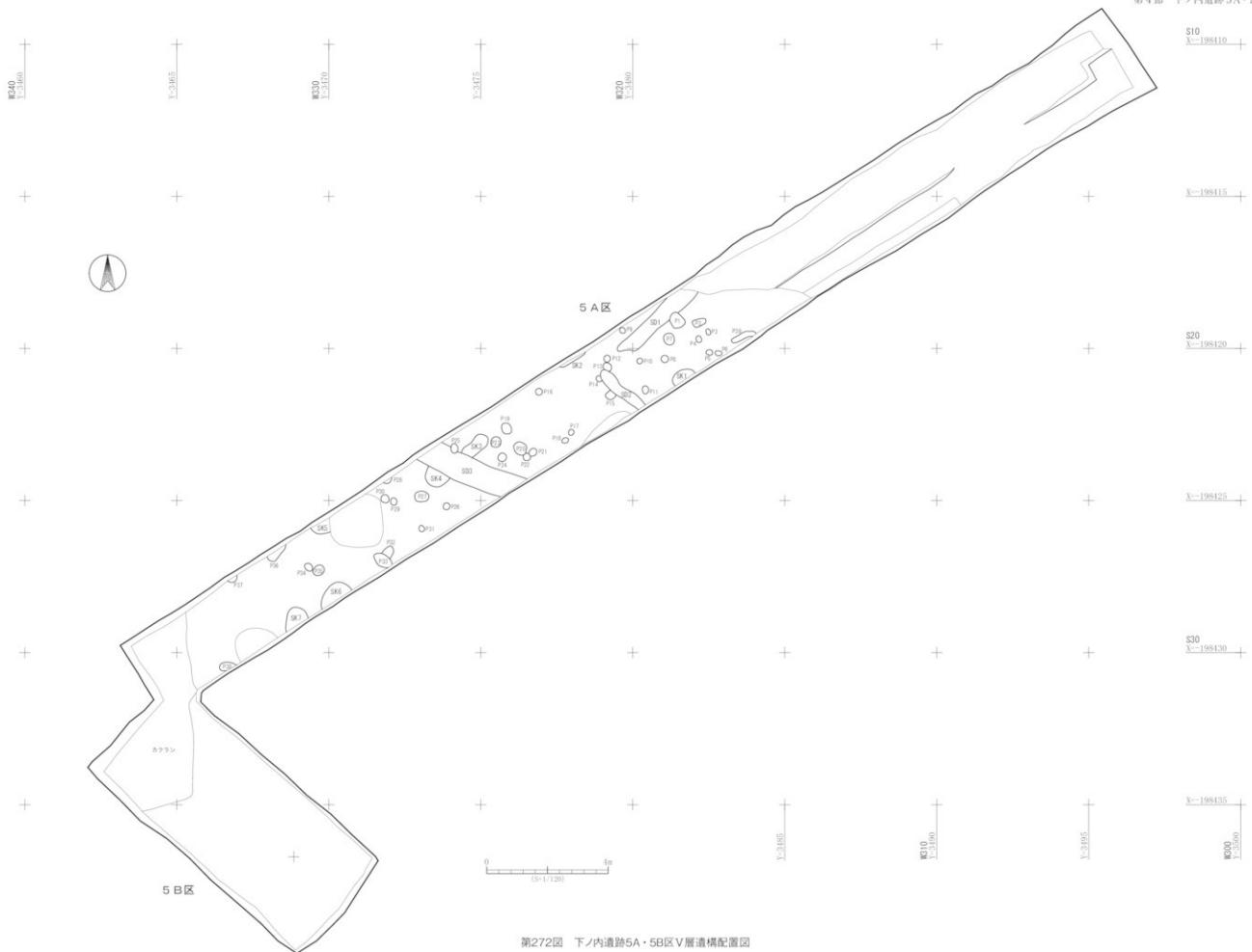


No.	登録番号	出土地點	層 位	種 別	器 形	寸法(横×底径×高さ)cm	特 殊	產 地	時 期	写真版
1	P-97	SD434	Ⅳ + V	土器	輪鉢式共窓	-×29×50	ロクロ	小明	18-19世紀前半	67-29
2	E-20	SD434	V	土器	直腹盤	-×-×15.5	外面調整	内面調整	ロクロナゴ	67-30
3	Kd-p-15	SD434	-	石製品	砾石	安山岩 長5×幅2.5×厚2.5 (cm) ×重さ (g)	備 考			写真版

第270図 SD434溝跡出土遺物



第271図 下ノ内遺跡5A・5B区Ⅲ・IV層遺構配置図



第272図 下ノ内遺跡5A・5B区V層構造配置図

古い。方向は東西正方位の東西溝で、規模は長さ6.30m、幅98~115cm、深さ28cmである。断面形はU字形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

SD406溝跡（第269・271図） W330~340・S30グリッドで検出し、P1826・1827と重複関係にあり、本遺構が古い。方向はN-86°-Eの東西溝で、規模は長さ7.00m、幅57~90cm、深さ6~15cmである。断面形はU字形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

SD407溝跡（第269・271図） W330~340・S30グリッドで検出し、P1828・1829と重複関係にあり、本遺構が古い。方向はN-88°-Eの東西溝で、規模は長さ4.80m、幅195~210cm、深さ24~53cmである。断面形はU字形である。堆積土は3層に分層される。遺物は出土していない。

SD433溝跡（第269・271図） W340・S30グリッドで検出した。方向はN-88°-Wの東西溝で、検出した規模は長さ0.80m、幅は不明、深さ20cmである。断面形はU字形である。遺物は出土していない。

SD434溝跡（第269・271図） W310~330・N0-S0~S10グリッドで検出し、平面形はL字状である。方向はN-88°-E、N-4°-Eと東西方向から南北方向に屈曲するものと思われる。検出した規模は東西長10.80m、幅約4.50m、南北長2.55m、幅は不明である。深さは130cmである。東西溝は地表下約220mまで掘り下げた時点で、掘削を中止した。底面は確認できていないが、東西溝の堆積土は4層、南北溝は3層に分層され、1・3層は細分される。屋敷地などを区画する溝や堀跡ではないかと考えられる。遺物は、近世土製品と須恵器、石器が出土しており、第270図に図示した。1は飯事道具と思われる壺を模した土製品である。近世の遺物と思われる。2は須恵器長頸壺の頸部破片である。3は砥石の欠損品である。扁平罐の平坦面に研磨痕が観察される。

3) ピット（第271図）

28基のピット（P1802~1829）を検出した。調査区中央が若干希薄であるが、ほぼ調査区全域に分布している。遺物は土師器片が出土した。

(2) V層検出の遺構と遺物（第272図）

V層は遺構確認調査のみを行い、遺構の掘削調査は行っていない。したがって、遺構の深さは不明である。確認した遺構は土坑7基、溝跡3条、ピット38基である。なお遺構番号については確認調査としての番号を当ており、下ノ内遺跡としての通し番号とはなっていない。

1) 土坑

5A-V-SK1 土坑（第272図） W320・S20グリッドで検出した。南側の調査区外へ延びる。平面形は楕円形であったと考えられる。検出した規模は北東から南西76cm、北西から南東の検出長35cm、遺物は出土していない。

5A-V-SK2 土坑（第272図） W330・S20グリッドで検出した。北側の調査区外へ延び、平面形・深さは不明である。検出した規模は北東から南西98cm、北西から南東10cmである。遺物は出土していない。

5A-V-SK3 土坑（第272図） W330・S20グリッドで検出した。5A-V-SD3溝跡と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は楕円形と思われ、長軸方向はN-50°-Eである。規模は長軸方向100cm、短軸45cm、遺物は出土していない。

5A-V-SK4 土坑（第272図） W330・S20グリッドで検出した。5A-V-SD3溝跡と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は楕円形または円形と考えられる。検出した規模は北西から南東80cm、北東から南西55cm、遺物は出土していない。

5A-V-SK5 土坑（第272図） W330~340・S20グリッドで検出した。北側の調査区外へ延びており、またⅢ・IV層検出のSK402により削平されている。平面形は不明であり、検出した規模は東西65cm、南北45cm、遺物は出土していない。

5A-V-SK6 土坑（第272図） W330~340・S20グリッドで検出した。南側の調査区外へ延びる。平面形は楕

円形または円形と思われる。検出した規模は北東から南西117cm、北西から南東50cm、遺物は出土していない。

5A-V-SK 7 土坑（第272図） W340・S20グリッドで検出した。南側の調査区外へ延びる。平面形は楕円形または円形と考えられる。検出した規模は南北85cm、東西60cm、遺物は出土していない。

2) 溝跡

5A-V-SD 1 溝跡（第272図） W320～330・S10～20グリッドで検出した。5A-V-P 1と重複関係にあり、本遺構が古い。方向はN-48°-Eの北東-南西方向の溝で、検出した規模は長さ3.25m、幅50～65cm、遺物は出土していない。

5A-V-SD 2 溝跡（第272図） W320～330・S20グリッドで検出した。5A-V-P 13～15と重複関係にあり、本遺構が新しい。方向はN-50°-Wの北西-南東方向の溝で、検出した規模は長さ1.76m、幅28～40cm、遺物は出土していない。

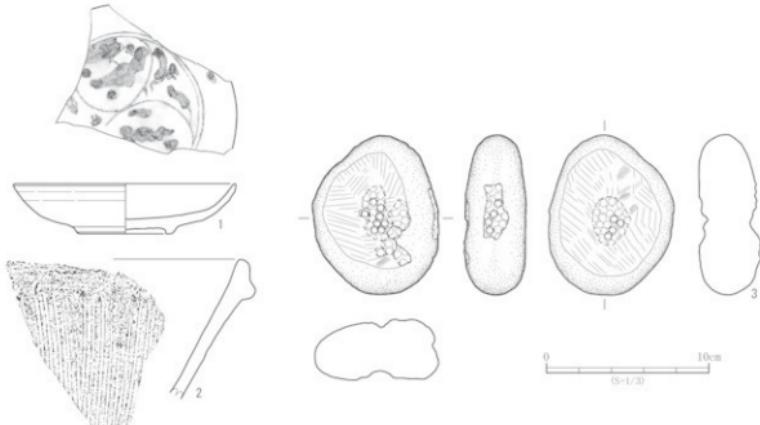
5A-V-SD 3 溝跡（第272図） W330・S20グリッドで検出した。5A-V-SK 3・4、5A-V-P 25と重複関係にあり、5A-V-P 25より古く、他の遺構より新しい。方向はN-66°-Wの北西から南東方向の溝で、検出した規模は長さ3.1m、幅95cm、遺物は出土していない。

3) ピット（第272図）

39基のピット（5A-V-P 1～39）を検出した。調査区中央から南西側のW320～340・S10～30に分布している。遺物は出土していない。

（3）遺構外出土の遺物（第273図、図版67）

近世陶磁器、須恵器、繩文土器、石器が出土し、そのうち3点を第273図に図示した。1は肥前系染付磁器で初期伊万里の皿である。SK300で出土した初期伊万里の皿と同じ手であり、同じ組であった可能性が高い。1650年代の製品である。2は鉄釉が施釉された在地産の擂鉢である。19世紀前半の製品であろう。石器はSD434から繩文時代の磨石が出土した。



No.	登録番号	層位	遺構・グリッド	種別	器種	寸法×底径×高さ(cm)	質地	発地	時期	写真回数
1	J-9	-	-	埋乱	須恵器	13.0×5.7×3.0	ロクロ	足込み・草花文 初期伊万里	肥前	1650年代 67-32
2	I-23	-	-	埋乱	施釉陶器	13.0×5.7×3.0	ロクロ 鉄釉	擂臼 4単位	在地	19世紀前半 67-33

No.	登録番号	層位	遺構・グリッド	種別	器種	石材	長さ×幅×厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真回数
3	Kc-g-30	-	SD434(本手)	埋石器	磨石	安山岩	95×75×3.7	2910	術1+1、四55+1、底51	67-34

第273図 遺構外出土遺物

13. まとめ

(1) 下ノ内遺跡は仙台市南部の太白区富沢四丁目にあり、自然堤防状の微高地に立地する縄文・古墳時代～古代の遺跡である。平成11年度は1A区・1B区・1C区・1D区、平成12年度は2A区・2B区・2C区、平成13年度は3A区、平成14年度は4A区・4B区、平成15年度は5A区・5B区で調査が行われ、縄文時代以降の遺構群を検出した。

(2) 縄文時代の遺構としては、1B区Ⅸ層～性格不明遺構1基、1B区Ⅹ層～性格不明遺構1基、1B区Ⅺ層上位・中位・Ⅻ層より竪穴住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、土坑43基、埋設土器5基、性格不明遺構9基、ビット58基、2C区Ⅺ・Ⅻ層より竪穴住居跡2軒、土坑47基、埋設土器5基、性格不明遺構3基、ビット6基、4A区Ⅶ層から性格不明遺構3基、ビット18基、X層からは埋設土器1基が検出され、各遺構から縄文土器や土製品及び石器類が出土している。

(3) 縄文時代の竪穴住居跡は3軒とも大木10式期に位置づけられる。2軒は複式炉を有しており、その内の1軒は敷石住居である。

(4) 縄文時代の遺物では土器・石器・土製品がみられ、遺構の時期と重なる中期後半のものが主体を占める。また4A区では後期、4B区ではわずかながら晩期の土器も出土している。

(5) 弥生時代の遺物については、1B区で弥生土器の小片が出土しているが、今回の調査区では遺構は検出されていない。

(6) 古墳時代～古代（10世紀以前）の遺構・遺物は各区Ⅳ・V・VI・Ⅷ層より多数検している。

以下、区別に記す。

1A区V層～掘立柱建物跡1棟、溝跡1条、小溝状遺構群2群、ビット1基

1B区V・VI層～竪穴住居跡3軒、掘立柱建物跡2棟、土坑4基、性格不明遺構1基、溝跡2条、小溝状遺構群5群、ビット145基

1C区IV層～溝跡1条、水田跡

1C区VI層～竪穴住居跡1軒、土坑3基、小溝状遺構4群、ビット9基

2A区V層～土坑4基、河川跡3条

2B区V層～河川跡1条

2C区V層～竪穴住居跡3軒、溝跡2条、小溝状遺構群1群、ビット20基

2C区VI層～竪穴住居跡1軒、土坑4基、性格不明遺構13基、溝跡1条、小溝状遺構群3群、ビット47基

3A区V層～土坑1基、性格不明遺構1基、小溝状遺構群2群、ビット104基

4A区V層～竪穴住居跡1軒、ビット1基

4A区VI層～河川跡1条、性格不明遺構2基、埋設土器1基、ビット18基

4B区V層～竪穴住居跡1軒、ビット4基

5A・5B区Ⅲ・Ⅳ層～土坑3基、溝跡4条、ビット28基

5A・5B区V層～土坑5基、溝跡4条、ビット38基

(7) V層検出の平安時代以前（10世紀以前）の遺構と考えられる小溝状遺構群は、4A・5A・5B区を除く調査区から検出されており、本遺跡内に畑が広がっていたものと考えられる。

(8) Ⅲ層検出の平安時代（10世紀以降）以降の遺構は、各区より多数検出している。以下、区別に記す。

1B区～掘立柱建物跡1棟、井戸跡1基、土坑24基、河川跡1条、性格不明遺構2基、ビット列1条、溝跡12条、ビット664基

1C区～土坑2基、溝跡1条

1D区－井戸跡1基、土坑1基、性格不明遺構1基、溝跡1条

2C区－掘立柱建物跡5棟、土坑28基、性格不明遺構1基、溝跡17条、ビット229基

3A区－竪穴住居跡1軒、土坑39基、性格不明遺構2基、溝跡14条、ビット938基

4A区－竪穴住居跡4軒、土坑6基、河川跡1条、溝跡2条、ビット21基

5A区－土坑3基、溝跡4条、ビット28基

(9) 繩文時代の出土遺物について

縩文時代の遺物は1B区、2C区、4A区において遺構及び遺物包含層中から多量の土器・石器・土製品などが出土した。ここでは、これらの遺構や遺物包含層中から出土した遺物を中心についてみていきたい。

1) 繩文土器

1B区、2C区、4A区の3地点で出土した縩文土器について文様・施文により分類を行い、各土器型式ごとに分類して説明する。地点ごとでみると1B区と2C区は中期中葉から末葉を主体とする内容であるが、4A区は後期中葉を主体としている。

第I群土器（第274図1）

本群に属する土器は1B区で出土した深鉢1点のみである。口縁部から胴部上半部が残存し、胴部はほぼ垂直に立ち上がり、頸部から口縁部にかけて外傾して口縁部は内側に肥厚して屈折する。口縁部は平縁で4単位の突起を有し「Y」字状・横縁「S」字状の隆線文が貼付される。それらに連結する波状の隆線文上にはL縩文が押圧される。口縁部は横位の刻目を有する隆線文及び沈線文で区画され、沈線文による山形文が連結して鋸歯状となるが、一部で波状となる。胴部には綾格文が施文される。この土器に類似する資料は山田上ノ台遺跡第Ⅳ群土器に認められることから大木7a式と考えられるが、口縁部の押圧縩文などを考慮するとやや新しい段階の可能性もある。

第II群土器（第274図2～13）

1B・2C区で出土した。キャリバー形の深鉢で頸部に無文帯を有する。2・4・6・7の口縁部はいずれも平縁で、口縁部文様帯は渦巻隆沈線文が縱横に連結して区画される。区画内には縩文施文のほか、押圧縩文（7）もみられる。頸部直下は沈線文または隆沈線文が巡り、胴部には沈線文（2）、隆沈線文（5）で渦巻文等が描かれる。3は口縁部に中空の渦巻突起が付く。5の口縁部破片は渦巻文が隆沈線文で表現され、頸部から口縁部が外反する器形と考えられる。中期中葉の大木8b式と考えられる。

第III群土器（第275～277図）

本群の土器は1B・2C区から多量に出土し、全体の遺物の大半を占める。口縁部は平縁と波状口縁がある。平縁のものは小突起を有するもの（第275図7）や、貫通孔を有して把手状となるもの（第275図6）などがある。波状口縁部頂部に双輪状の突起を有し、底部に山形の小突起を有するもの（第276図5）。器形では胴部上半に膨らみをもち、括れを有して立ち上がるものの（第275図1）、底部から開いて直線的に立ち上がるものの（第275図8）、胴部中位に最大径をもち、頸部で大きく括れて口縁部が外反するものの（第275図9）、底部から開いて立ち上がり、口縁部付近で「く」の字状に強く内側に屈折するもの（第276図11）などがある。文様は2本の平行する沈線文または隆沈線文により無文帯が形成され、「O」字・「S」字・「クランク」状文などが横位に連結して展開していく。隆線の一部は立体的な鋸状となる部分もみられる（第275図9）。第276図13は鋸状の隆線文に刻目を有しており、新しい要素としてとらえられるが、文様構成がその他のものと類似するため本群中に含めた。区画内には縩文、撚糸文が充填されるが、「O」字状文、または玉抱き状の区画内には刺突文が充填されるものもある（第275図2・6、第276図11）。文様は胴部上半に展開するものが多いが、無文帯が胴部下半に重下するものもある（第275図9）。第277図1～10は本群の粗製土器である。胴部中位に最大径を持ち、口縁部に向かって緩やかに内湾して立ち上がり、口縁部直下に一条の沈線あるいは隆線文が巡るものがある。第277図11の小型土器は波状口縁で、頸部には押圧縩

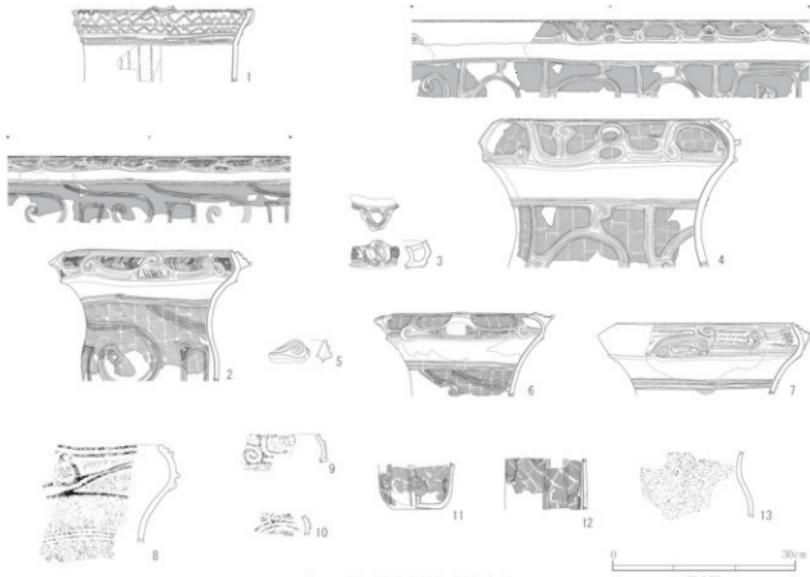
文が施されている。第277図14は台付の小型土器で、台部には貫通孔を有する。第277図15は小さな山形突起による小波状口縁となる。第277図16~23は注口土器である。16は胴部中位よりもやや上に隆線文が貼付され、算盤玉状の器形を有し、口唇部から延びる把手は注口部に連結して環状となる。17は胴部に丸みを持ち、頭部から口縁部にかけては外側に「く」の字状に開いて立ち上がる。底部には柱状の小さな台が付く。18~22の注口部も環状の把手を有している。第277図23は壺で頸部が強く屈折し、口縁部には橋状の把手が付く。いずれも中期末葉の大木10式と考えられる。

第IV群土器（第278図）

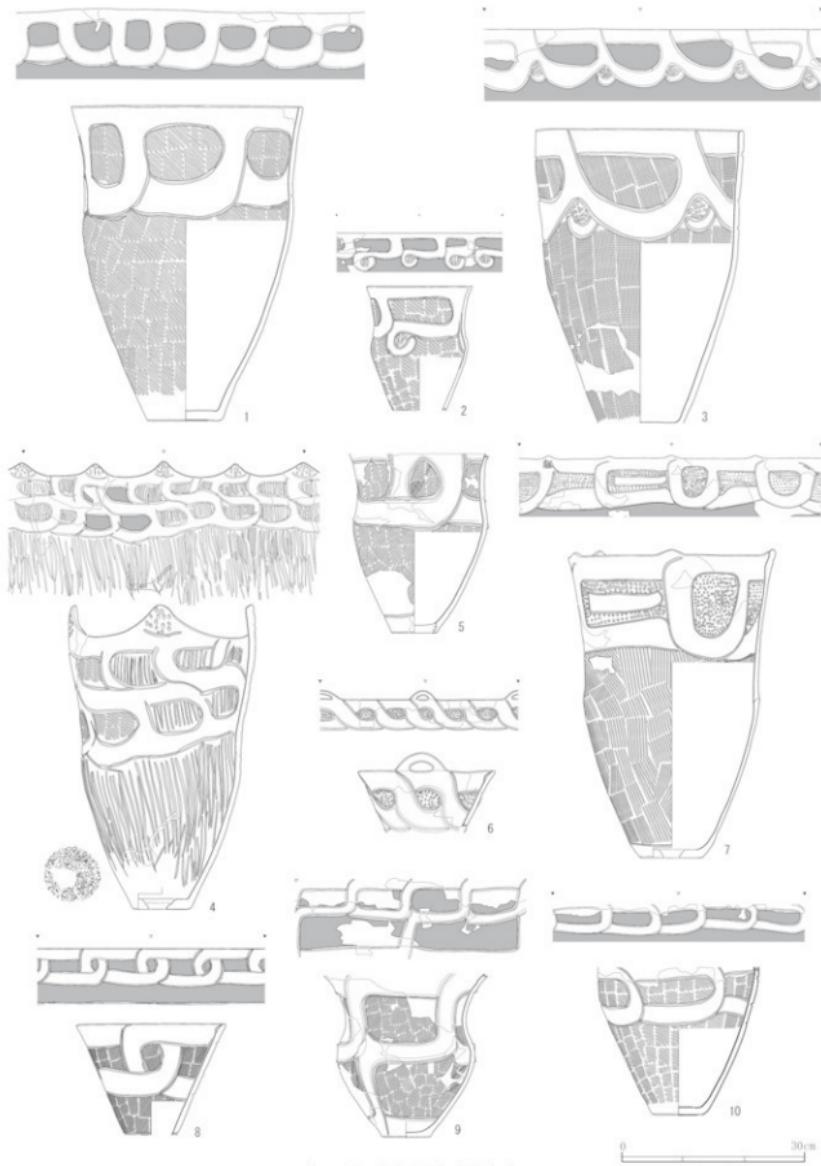
1B・2C区から出土しているが、破片のものを含めても数は少ない。1~3はいずれも平縁の深鉢で、隆線文で方形に区画され、2では胴部中位まで垂下する「S」字状文がみられる。1は口縁部から胴部、2・3は胴部へ横位に連続した鱗状の刺突文が施される。4は小型の深鉢で平行する2条または3条の沈線で文様が描かれる。5は深鉢の口縁部に付く把手状の突起である。9~11は平行沈線で文様が描かれるが、第III群土器のものに比べて沈線間の無文帯の幅が狭くなる。12~15は同一個体の深鉢で、隆線部分に円形浮文がともなう。10の胴部破片は隆線上に隆線に平行した方向に長い刺突文がみられる。16~17は地文に梯巻状の沈線文が施される。第278図18は波状口縁となる小型の浅鉢で、外面には赤彩がみられた。本群の土器は後期初頭から前葉頃と考えられる。

第V群土器（第278図）

4A区からまとめて出土しており、1B・2C区からは破片のみが検出されている。19は口縁部付近がわずかに内湾する深鉢で、口縁部直下にはやや幅広の帶縄文がめぐる。20~24は幅狭の平行沈線で文様が構成される。25の壺は平行する3つの帶縄文が無文帯と交互に配される。26は浅鉢である。口縁部に4条の平行沈線が巡り、わずかに位置を変えて刻まれる短縦位沈線によって、文様はクランク状となっている。27~38は粗製土器及び鉢類で



第274図 繩文土器集成図（1）

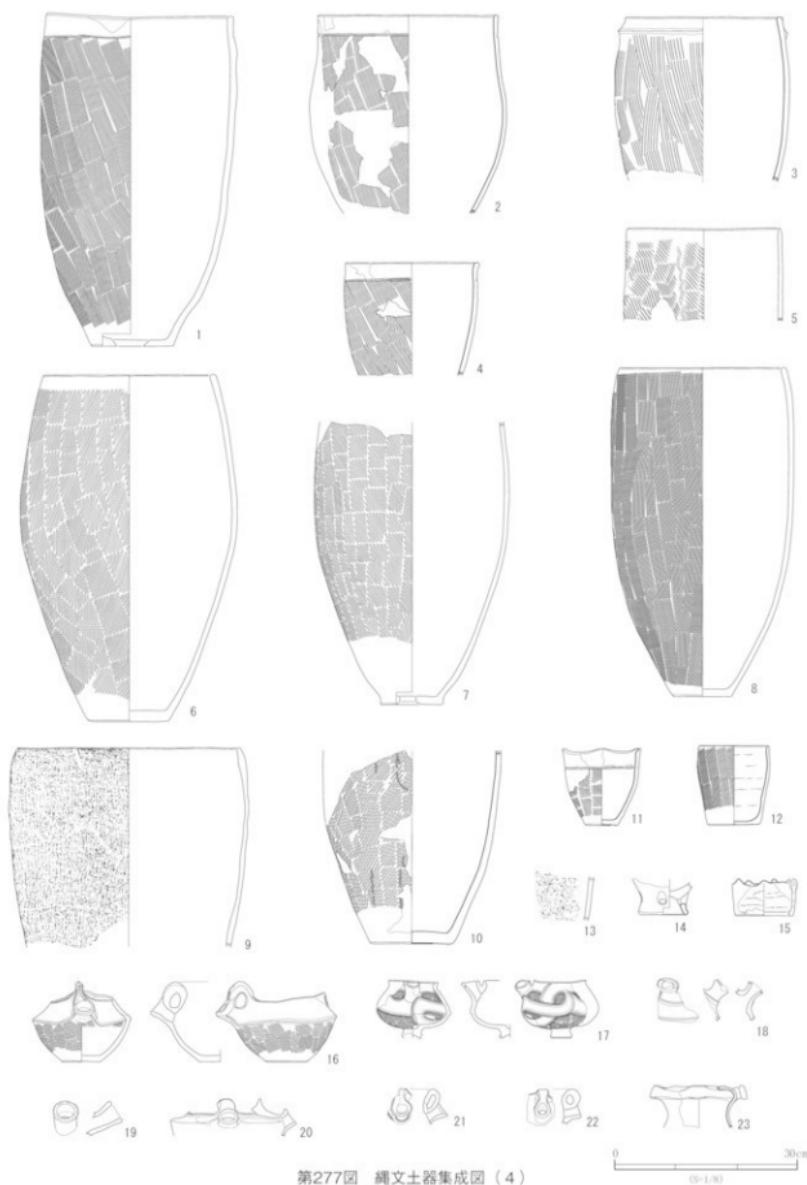


第275図 繩文土器集成図（2）

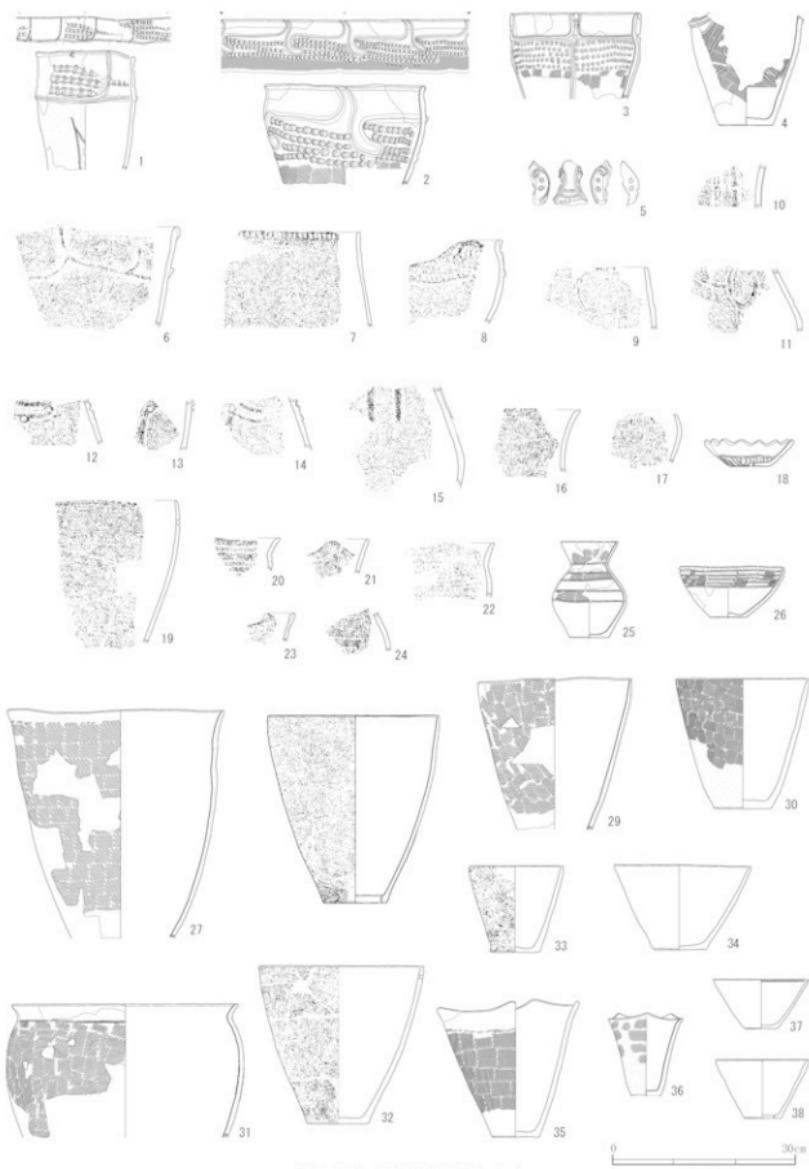


第276図 繪文土器集成図（3）

第4節 下ノ内遺跡まとめ



第277図 縄文土器集成図（4）



第278図 縄文土器集成図（5）

ある。脇部が締まり口縁部が緩やかに外反しながら開いていく器形が多い。31は口縁部が「く」の字に屈折する。35、36は波状口縁となり、口縁部付近は緩やかに外側に開いて立ち上がる。20・22は後期前業の南境式の新しい段階、それ以外の土器については後期中業の宝ヶ峯式と考えられる。

2) 石 器

① 縄文時代中期末葉の石器について

石器・石製品について第4表に石器組成表、第5・6表に器種別石器石材組成表を作成した。古代の石製品を含む石器総点数は1202点である。地区別では縄文時代の遺構が分布する1B区と2C区のⅧ層にまとまつた出土点数が認められ、1B区に298点、2C区は780点が出土した。この両地区的石器群は縄文時代中期末葉の土器に伴つて出土しており、当該時期に属する石器群として捉えられる。また、4A区では中期末葉(Ⅷ～X層)の石器11点の他に後期(VI～Ⅸ層)の石器52点が確認され、合わせて63点の石器が出土している。

器種別の分類は打製石器、磨製石器、礫石器、石製品、その他に大別し、それぞれの器種に分類した。打製石器の内訳は、石鏃35点、石錘13点、石匙12点、不定形石器112点、石砲7点、楔形石器3点、二次加工のある剥片124点、微細削離痕のある剥片97点、剥片430点、石核35点であり、打製石器全体としては868点出土した。磨製石器としては磨製石斧が2C区に4点出土した。礫石器については最終的な使用痕による器種分類を行い、磨石69点、凹石84点、敲石45点、砥石24点、石錘16点、石皿12点、台石4点、礫器4点であり、礫石器全体としては258点である。石製品は縄文時代に属するものは石棒1点であり、他は古代以降の砥石30点、石製模造品5点、石臼18点の計55点である。その他は原石や不明石器等が18点である。

縄文時代中期末葉の石器群がまとまって出土した1B区と2C区の器種別の石器組成については、第280図2・4に2軒の住居跡の石器組成とともにグラフで示した。このグラフは2が打製石器の内の定形的な石器の割合を示し、4は礫石器の割合を示したものである。グラフで見ると打製石器では不定形石器が6割前後を占める。礫石器については磨石と凹石を合わせて6割前後を占めるという傾向が認められる。一方で第280図3・5は4A区VI～Ⅸ層の縄文時代後期の石器組成を示したグラフである。

器種別の石器石材については、表と共に石器の地区別と大別毎の組成を第281図にグラフで示した。これによると、打製石器に珪質頁岩が多く認められ、礫石器では安山岩が主体を成すという特徴がある。このような傾向は当該地域の縄文時代遺跡で一般的に認められる傾向である。

全体的には以上のような特徴が認められた。以下に各器種別の特徴について簡単に触ることとする。

第282～284図は今回の調査で主体となって出土した縄文時代中期末葉の土器群に伴つて検出された石器群から、主な打製石器を抽出して図示したものである。

打製石器

石 鏃 (第282図1～23)

石鏃は基部の形状によって細分し、有茎石鏃が2点、平基鏃が6点、凹基鏃が21点、その他の基部形状を持つものや欠損品を含むその他の6点の計35点である。中期に属する石鏃は1B区に9点、2C区に24点の33点が確認され、23点を図示した。

形態は基部の形状により4類に分類でき、a1類が有茎石鏃(1・2)、a2類は平基鏃(3～5)、a3類は凹基鏃(6～22)、a4類はその他の石鏃で、23の円基鏃が含まれる。a1類の有茎石鏃は、1の石鏃が側縁の先端部側に突起を持つ形状で、1・2とも基本土層第V層のグリッド出土であることから、縄文時代後期以降の遺物である可能性もある。

a2類の平基鏃は3・4は調整加工のやや粗い部分も認められる。5は未製品でSX99性格不明遺構から出土したもので、詳細については399頁で述べる。

a3類の凹基讃は本遺跡出土の石讃の中で主体となる。基部の抉り出しの深さには浅いものから深いものまで認められ、側縁の形状でも細分が可能である。6~14は側縁の形状が直線状に基部へ向かって広がるもので、平面の形状が二等辺三角形のものである。14は長幅比が逆の小形石讃である。15~21は側縁が脚部付近で湾曲する形状を呈する。また、18は脚部が逆三角形を呈する。22は側縁が緩やかに外反する石讃である。

a4類に含めた23の円基讃も裏面に大きく自然面を残すものである。

石材については、珪質頁岩を用いているものが最も多く、21点で全体の6割近くを占める。その他の石材は玉髓が6点、石英は3点、鉄石英は3点、頁岩と凝灰岩と黒曜石が1点ずつ確認された。また、分類別に見た石材の傾向としても本遺跡で主体となる凹基讃では珪質頁岩が多く用いられているが、有茎石讃は玉髓と頁岩を用いている。

石讃の先端部の残存状況は、使用による明瞭な衝撃剥離痕等は認められない。

大きさと重さについては、完形值では長さが1.5~4.2cm、幅は1.2~2.6cm、重さ0.3~4.4gを測り、平均すると長さ2.4cm、幅1.5cm、重さ1.3gとなる。

石 錐（第282図24~28）

石錐はつまみを持つものが13点である。その内の5点を図示した。地区別では1B区で3点、2C区から10点が出土した。

形態分類は、c1類とした全体が棒状を呈する石錐は無く、いずれもc2類としたつまみを持つ石錐である。錐部と素材の位置関係については打面側を錐部としているもの（24・25・27）と端部側を錐部としているもの（26・28）がある。28は錐部とつまみ部との明瞭な境が認められないが、下端の錐部作出のための二次加工が施されなくなる胴部から上部をつまみ部と考えた。

石材は13点中の8点が珪質頁岩であり、過半数を占める。その他の石材としては玉髓が3点、凝灰岩が各2点認められた。

石 篦（第282図29~35）

石箒は半両面加工が2点、両面加工が5点の計7点である。全点を図示した。地区別では2C区で6点、4A区から1点出土した。

形態分類は、f1とした半両面加工が2点（34・35）、f2とした両面加工が5点（29~33）である。31~33は部分的に素材面を残すが、素材面が小さく横断面形に大きな影響を与えていないことから両面加工品に含めた。

平面の形状は、29~31が短冊状を呈するものであり、下端に片刃に近い刃部を持つものとしてまとめられるが、29は薄手で細長い形状を持つものであり、明瞭な先端部は認められないが尖頭器としての分類の可能性も含めて他の石箒とはやや異なるものである。32~35は下端刃縁が丸く、その直上に最大幅があり、上端に向けて収束する形状を呈するものであり、刃部の形状は32が両刃、33~35は片刃である。

石材は全て珪質頁岩である。

石 匙（第283図1~11）

石匙は刃部の形状が綫型のものが7点、横型が2点、刃部が斜行する中間形や特殊な形態を含むその他が3点の計12点である。地区別では1B区で4点、2C区で7点である。

形態分類は、つまみ部を上にした場合綫型になるものをd1類、横型となるものをd2類、その他をd3類とし、d1類が7点、d2類は1点、d3類は3点である。素材の位置関係については端部側をつまみ部としているもの（1・4・6・9）と打面側をつまみ部としているもの（2・3・5・7・8・10）の双方が認められる。

1~7は綫型である。1は表面の全面に調整加工が施され、器体の端部にも刃部が作出されるものである。3~6は側縁から端部にまで刃部の作出が行われている。

8は横型の石匙としたが、刃部の形状が三角形を呈するものであり、主な刃部と考えられる下面の刃部と共に、

両側縁にも直線的な二次加工が施されている。

9・10は刃部が斜行して縦型と横型との中间形を呈することからその他とした。11は調整加工は器体の表裏に細かく施されて端部は尖頭状を呈する。全体的な形状が通常の石匙とは異なる、別な器種の可能性もあるが、つまり形状を重視し、その他とした。

石材は全て珪質頁岩である。

不定形石器（第284図1～17）

不定形石器は刃部の部位及び形状によって細分され、石器の側縁に銳角の刃部を持つ削器が47点、石器の端部に純角の刃部を持つ搔器が3点、抉り入り状の刃部を持つノッチが4点、石器の一部に刃部加工が認められるRFが33点、石器の刃部に使用痕が認められるUFが25点の計112点である。地区別では1B区で30点、2C区で71点、4A区で2点である。17点を図示した。

形態分類としては7類に細分した。e1類は基本的に素材となった剥片の側縁に連続した二次加工を施して刃部を作出したものであり、所謂削器である。素材の端部に刃部が作出されるものであっても刃部角が銳角なものは本類に含めた。本類は42点が出土し、第284図1～16に示した。本石器の主体を成すものである。e2類は素材となった剥片の端部に急角度の二次加工を施して凸刃の刃部を作出するものであり、所謂搔器である。本類は3点出土したのみで、17に示した。e6類は素材となった剥片の一部に刃部加工が認められるもので、RFとして二次加工のある剥片とは分離した石器である。30点出土した。e7類は素材となった剥片の一部に使用痕と考えられる刃こぼれ状の微小剥離が認められるもので、UFとして微細剥離痕のある剥片と分離した石器である。24点出土した。e3類からe5類に属する不定形石器は今回の調査では出土していない。

1～16はe1類の削器の内、素材と形状に特徴が認められるものを示した。1～9は縦長剥片を素材とし、両側縁に二次加工を施して刃部を作出しているものであるが、下端部の形状が尖頭状を呈するものである。いずれも先端部の作り出しを意識したような加工であり、下ノ内遺跡の前回報告（仙台市教育委員会 1990）でも不定形石器1B-1類として8点出土している。また、2～14は細身の縦長剥片を素材とするものであり、次頁に述べる縦長剥片を素材とした削器と考えられるものであり、本類に比較的まとまって用いられている状況が認められる。

17は厚手の剥片を素材とし、平面の形状は細長い。主要な刃部は下端であり、e2類の所謂典型的な搔器である。

石材は99点が珪質頁岩であり、9割以上を占めている。

磨製石器

磨製石斧

2C区に4点出土した。完形品と刃部破片、頭部破片、部分破片である。研磨はいずれも丁寧に施されており、石材は凝灰岩である。

礫石器

礫石器は241点が出土し、地区別では1A区に3点、1B区に69点、1C区に1点、2C区に156点、3A区に3点、4A区に7点、4B区に1点、5A区に1点である。

分類基準は最終的な使用痕により、磨石・凹石・敲石としている。点数は磨石が69点（28%）で、この内磨面だけを持つものが36点、磨+凹が16点、磨+敲が14点、磨+凹+敲が2点である。凹石は84点（33%）で、この内凹みだけのものが66点、凹+磨が8点、凹+敲が6点、凹+磨+敲は認められない。敲石は45点（19%）で、この内敲きだけのものが32点、敲+磨が4点、敲+凹が9点、敲+磨+凹は認められない。

その他の礫石器は、砥石が24点（10%）、石錘は4点出土している。石錘は12点（5%）で、皿状の窪みを持つもの、扁平石皿、4A区のX層からは脚付の石皿が出土した。台石は16点（2%）、礫器も4点（2%）であった。

石材は安山岩が195点で、全体の81%を占めて主要な石材となる。その他の石材としては流紋岩14点、ディサイ

ト11点、閃緑岩3点、砂岩5点、凝灰岩が9点、頁岩が3点である。

② 1B区SX99出土の石器について

1B区のSX99とした遺構からは計29点の剥片石器が20×15cmの範囲でまとまって検出された。定形石器としては石鎚が1点と削器が1点確認されただけであり、その他は石核1点、使用痕のある剥片2点、微細剥離痕のある剥片16点であった。これらの一括遺物はいずれも良質の珪質頁岩を素材としており、少なくとも4個の母岩に細分され、その内の2母岩に接合関係が認められた。接合資料1は器体の上面に設定された剥離面を打面として、打点を左方向に移動しながら連続した剥片剥離があり、作出された剥片は器長が短い瓶長の剥片である。接合資料2は背面に残された剥離面の方向も含めて多方向からの剥離が認められることから、一定の打面を持たず頻繁に打面転移を繰り返しながら剥片剥離が施されているものであり、作出された剥片は横長の剥片であった。

本遺構の性格としては、石器あるいはその素材をその場所に一括して保管したものと考えられる。

③ 石刃状の縦長剥片について

下ノ内遺跡の縄文時代の石器には、所謂縄文石刃とも呼ばれる石刃状の縦長剥片を素材とした石器がある。点数としては35点であり、その器種別の組成を第7表に示し、さらにその分布を遺構とグリッドで第285図に示した。器種別の内訳は石錐1点、石匙3点、不定形石器23点、二次加工のある剥片1点、微細剥離痕のある剥片5点、剥片2点であり、石器の組成としては不定形石器e1類の削器を中心とした素材の側縁に加工を施した石器が多い。

分布状態では、遺構からの出土が認められたものは2軒の堅穴住居跡と1基の土坑だけであり、その他の遺構からは出土していない。土坑はSK105土坑から出土した微細剥離痕のある剥片1点であり、まとめた出土点数ではない。一方、堅穴住居跡ではSI223堅穴住居跡から7点、SI227堅穴住居跡から6点が出土した。器種別の内訳はSI223は石匙2点、不定形石器の削器1点、RF2点、UF1点、微細剥離痕のある剥片1点であり、SI227は石匙1点、不定形石器の削器2点、UF3点である。遺構外の分布状態は、集中するような状況はない。

以上の状況から見ると、このような石刃状の縦長剥片や縦長剥片を素材とした石器群は、分布が散漫であること、逆に住居跡内にややまとめた点数が認められたこと、石核も認められず、剥片剥離作業を行った状況も認められないことなどの点から、石器やその素材として遺跡外から持ち込まれた可能性が高い。

縄文時代中期末の時期にこのような石刃状の縦長剥片が検出されている遺跡の分布範囲は、近年山形県内陸部を中心に宮城県・福島県・新潟県北部にわたって分布していることが明らかとなってきており、山形県の柴橋遺跡からは住居跡内からの接合資料も発見されている（寒河江市教育委員会 1987）。また、素材となった珪質頁岩も最上川・月布川・寒河江川水系を原産地としている可能性も指摘され、石器及び石材の広範囲の移動に伴う搬入・搬出が行われていたことが理解されつつある（石井 1996）。

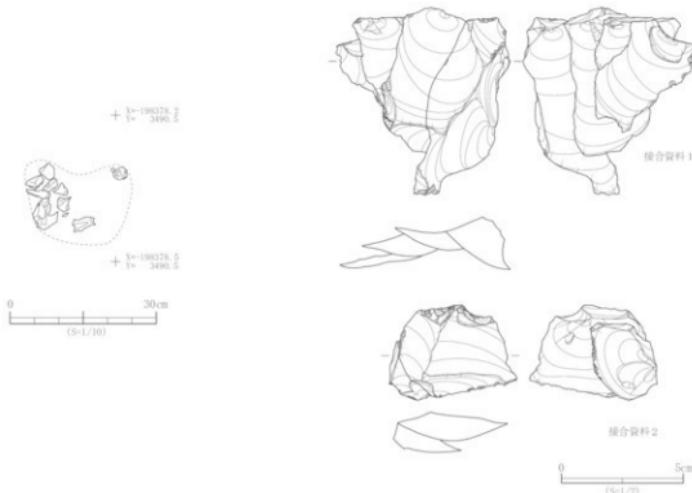
このような中で、隣接する山形県の遺跡としては、月布川の流域に位置する橋上遺跡（大江町教育委員会 1985）があげられる。ここでは本遺跡と同様に縄文時代中期の大木10式の土器と共に8,000点以上の石器が出土している。橋上遺跡からは縦長剥片剥離技術を持つ石核と石刃状の縦長剥片も大量に出土しており、一大生産地とも言える遺跡である。このような遺跡の存在からは、今後の産地同定等の裏付けが必要となるが、橋上遺跡のような生産地を核として近隣の各遺跡へ素材あるいは定形石器として運び込まれたものとも考えられ、その一つの現象が本遺跡のような石刃状剥片素材の石器群の分布状態として現れたものと推測することも可能である。

第4表 下ノ内遺跡石器組成表

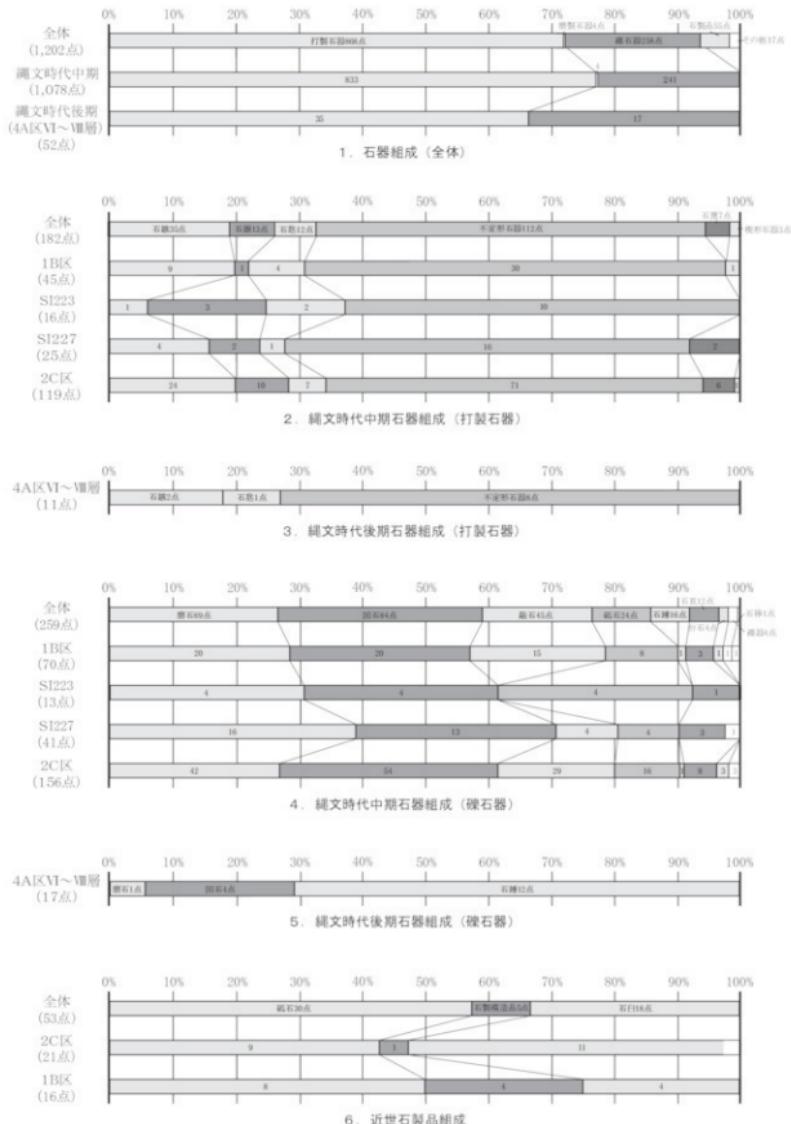
第5表 下ノ内遺跡器種別石器石材組成表（1）

第6表 下ノ内遺跡器種別石器石材組成表（2）

地名	石材	打製石器												磨製石器												その他		計											
		Ka						Kb						Kc						Kd																			
		石 頭	石 核	石 片	石 核	石 核	石 核	石 頭	石 核	石 核	石 核	石 核	石 頭	石 核	石材																								
石頭	a1	a2	a3	a4	c2	d1	d2	d3	e1	e2	e3	e4	e5	e6	e7	f	f2	h	j	k	l	m	a	b	c	d	e	f	g	h	a	b	c	d	e	g	1	7	992
珪質頁岩	5	13	3	8	7	2	3	45	2	4	31	24	2	5	2	75	84	259	17																			591	珪質頁岩
頁岩	1								1		1					5	2	14	1	1	1																31	頁岩	
燧石岩		1	2													5	15	4	3	2	3	6		2	15											56	燧石岩		
鈍板岩																																			1	鈍板岩			
砂岩																																			1	砂岩			
砂岩																																			1	砂岩			
安山岩																																			1	安山岩			
デイサイト																																			1	デイサイト			
輝石岩																																			1	輝石岩			
花崗閃綠岩																																			2	花崗閃綠岩			
綠色片岩																																			4	綠色片岩			
麻斑岩																																			2	麻斑岩			
石英岩	1	2	2	2	2	3	1										11	2	40	4																	22	石英岩	
石英岩																																			1	石英岩			
石英岩																																			1	石英岩			
石英岩																																			1	石英岩			
石化木																																			2	石化木			
合計	2	61	21	31	13	71	2	3	47	2	41	33	25	21	5	3124	97	430	35	4	69	84	45	24	16	12	41	4	30	1	5	18	18	1202	合計				

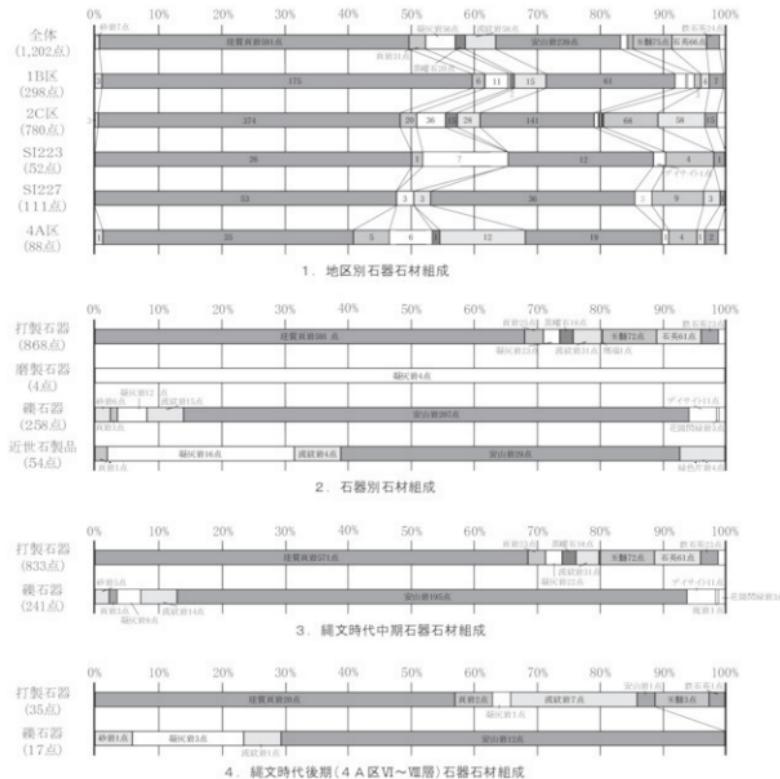


第279図 SX99性格不明遺構



第280図 石器組成グラフ

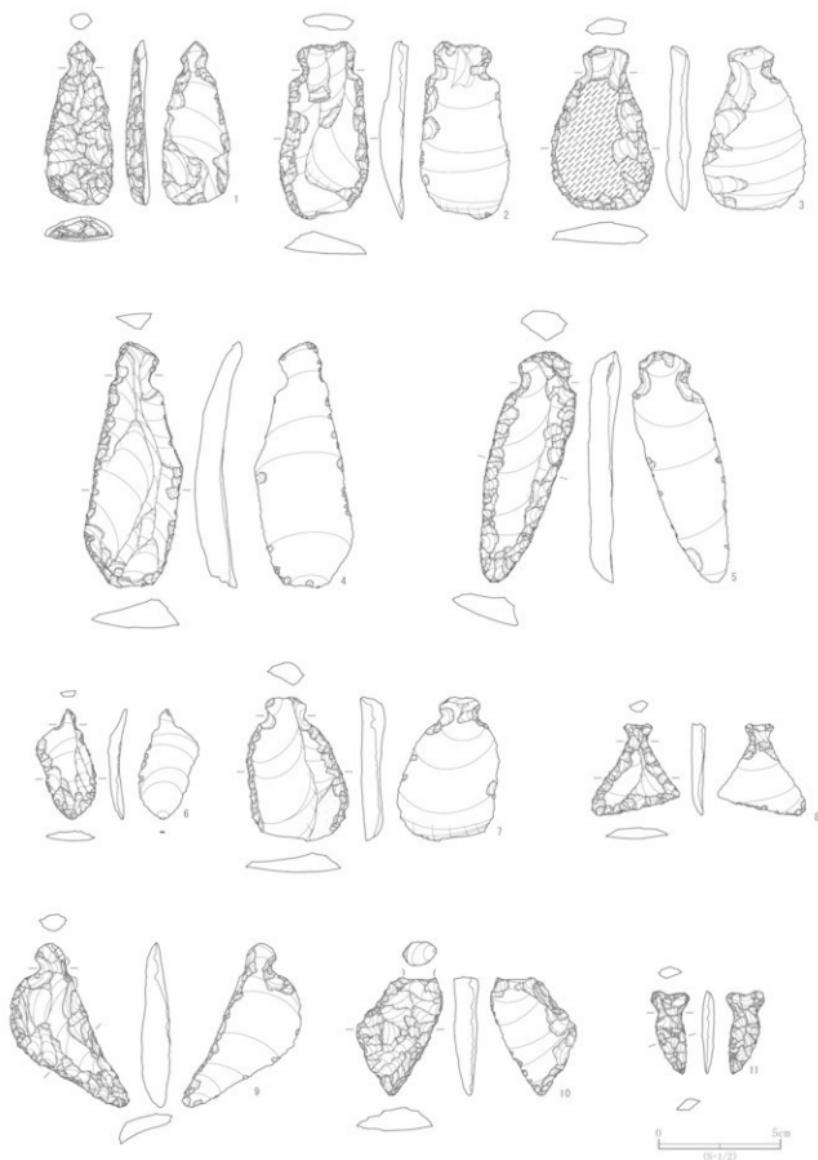
第4節 下ノ内遺跡まとめ



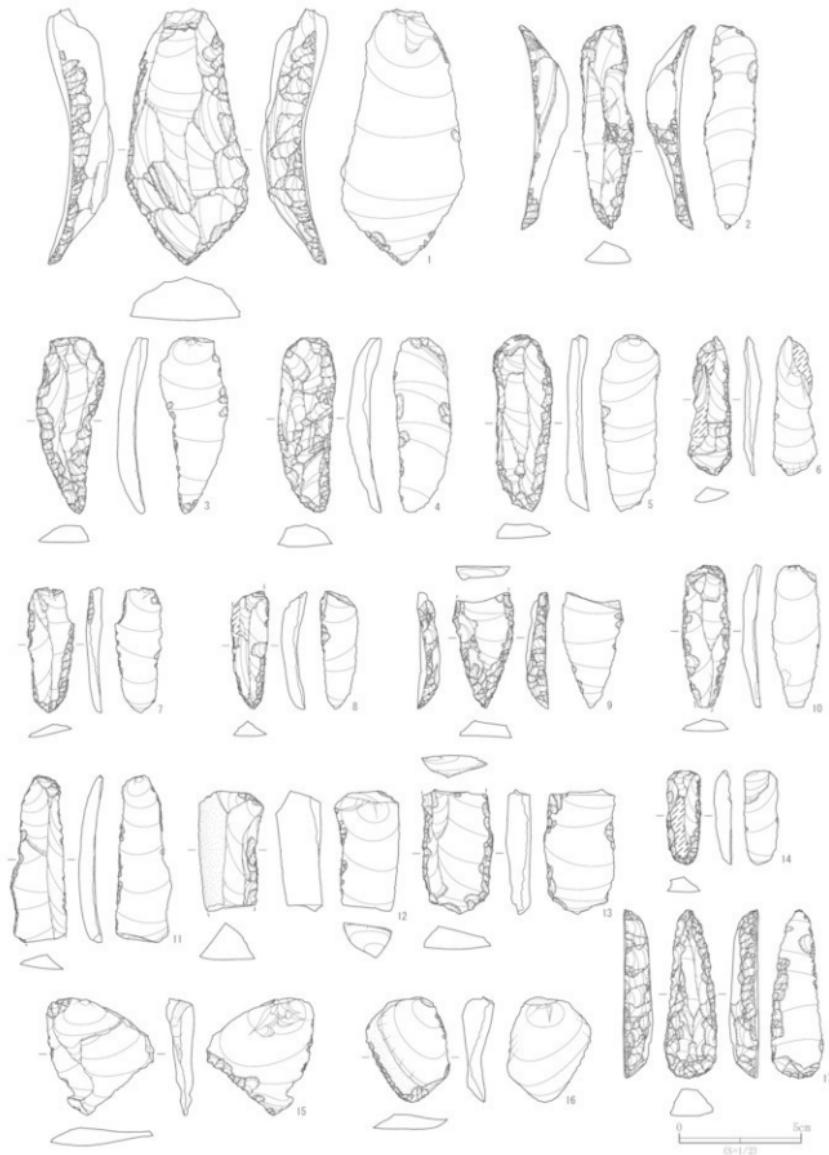
第281図 石器石材組成 グラフ



第282図 縄文時代中期後半出土の主な石器（1）



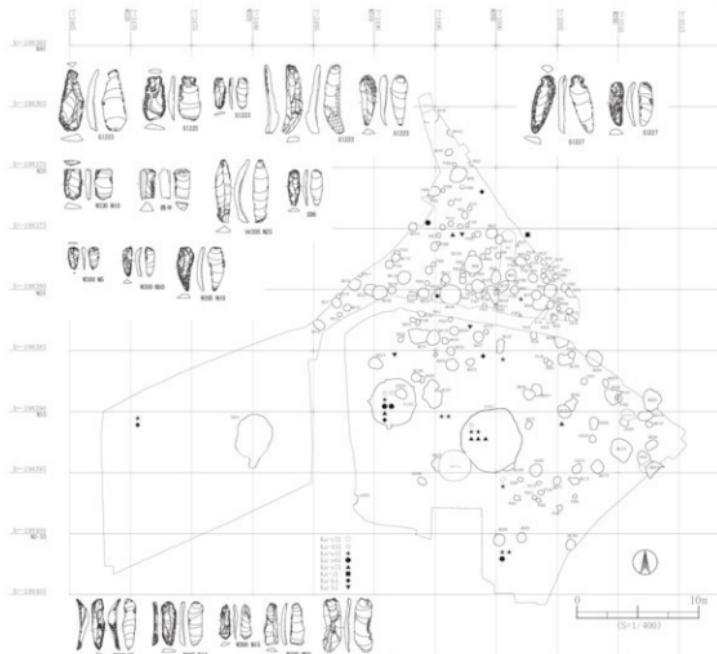
第283図 縄文時代中期後半出土の主な石器（2）



第284図 縄文時代中期後半出土の主な石器（3）

第7表 石刃状剥片組成表

地区	層位・道構	打製石器										剥片			計							
		石鏃			石錐			石刃			不規則石器			微細な底のある剥片								
		a1 有茎	a2 平底	a3 円底	c1 その他の つまみ	c2 その他の つまみ	c3 その他の つまみ	d1 縦型	d2 横型	d3 その他の 縦型	e1 鋸刃	e2 鋸刃	e3 鋸刃	f1 R	f2 U	f3 P	f4 半円削加工	f5 両面削加工	f6 複数刃	f7 h	j	k
SK105																				1	1	SK105
Ⅷ																				9	9	Ⅷ
IX																				2	2	IX
M																				5	5	M
M																						M
その他																				1	1	その他
小計																				3	3	その他
S1223																				1	1	S1223
S1227																				3	3	S1227
Ⅹ																				1	1	Ⅹ
M																				1	1	M
M																						M
その他																				9	9	その他
小計																				25	25	小計
4 A [縫~X]																				1	1	縫~X
合計																				33	33	合計



第285図 石刃状剥片分布図

第8表 道構一覧表(1)

1区V層 既存柱建物群					
遺構番号	位置(グリッド)	主軸方位	柱間数	建物規模(m)	時期
SK02	W 250~260・N20	N~19°・E	平行1列以上・梁行2列	3.75×(165)	
小溝跡					
遺構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SD01	W 260~270・N20	N~20°・E	長さ[1.48]×幅0.20~0.35×深さ0.05~0.07	直線・U字形	
小溝跡道構群					
遺構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
I-1	W 270~N20	N~10°・E	長さ[1.42]×幅0.20~0.35×深さ0.05	直線・(U字形)	はは直線・(U字形)
I-2	W 270~N20	N~3°・E	長さ[1.55]×幅0.20~0.25×深さ0.05	直線・(U字形)	直線・(U字形)
B-1	W 270~N20	N~70°・W	長さ[0.25]×幅0.25~0.30×深さ0.05~0.07	直線・(U字形)	直線・(U字形)
B-2	W 260~270・N20	N~74°・W	長さ[1.41]×幅0.20~0.35×深さ0.05~0.07	直線・(U字形)	直線・(U字形)
1区Ⅱ層 既存柱建物群					
遺構番号	位置(グリッド)	主軸方位	柱間数	建物規模(m)	時期
SB47	W 230~N10~20	N~2°・E	平行3列×梁行1列	5.40~5.70×375	
井戸跡					
遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SB28	W 330~N20	-	[幅15.4×深さ2.280±1]	[はは]円形・扇形	
土坑					
遺構番号	位置(グリッド)	長軸方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SK12	W 310~N20	-	[幅120×深さ3.26	[はは]円形・幅広のU字形	
SK13	W 320~N10	N~87°・W	長軸65×短軸90~160×深さ12~16	台形・瓶状	中世以降
SK14	W 320~N10	N~7°・E	長軸86×短軸70×深さ10	柱門形・瓶状	19世紀前半~中葉
SK15	W 320~N10	N~82°・W	長軸110×短軸86×深さ57	柱門形・瓶状	
SK16	W 320~N10	N~86°・E	長軸350×短軸44~140×深さ2~10	不整地円形・瓶状	19世紀前半
SK17	W 320~N10	N~33°・W	長軸140×短軸80×深さ55~12	不整地円形・瓶状	
SK18	W 320~N10	N~96°・W	長軸63×短軸44×深さ42	長方形・U字形	
SK19	W 320~330~N10	-	[幅80×深さ25	[はは]円形・幅広のU字形	
SK20	W 320~N10	-	[幅70×深さ57	[はは]円形・瓶状	
SK21	W 330~N10	-	[幅120×深さ5.51	[はは]円形・U字形	
SK26	W 330~N10	N~76°・E	長軸420×短軸98×深さ320	柱門形・幅広のU字形	
SK27	W 330~N10	N~8°・W	長軸480×短軸60×深さ512	椭丸形方柱・幅広のU字形	
SK28	W 330~N10	-	[幅94×深さ22	[はは]円形・通台形	
SK29	W 330~N10	N~71°~98	長軸65×短軸55×深さ10~22	不整地円形・通台形	
SK30	W 320~N10	-	長軸65×短軸70×深さ28	[はは]円形・U字形	
SK31	W 320~N10~0	-	[幅145×深さ51~8	[はは]円形・瓶状	
SK32	W 330~N10	N~13°~W	長軸131×短軸72×深さ4	椭丸形方柱・瓶状	
SK37	W 320~N10~0	-	南北50×東西30×深さ4~9	(橋円形)・通台形	
SK39	W 300~320~N30	-	南北:220×東西:120×深さ25	不明・通台形	近世
SK40	W 310~N30	N~75°~W	長軸80×短軸47×深さ9~15	柱門形・通台形	
SK42	W 310~N30	N~7°・E	長軸175×短軸90×深さ58	(不整地丸形方柱)・瓶状	
SK43	W 310~N30	(N~86°~E)	南北:215×東西:215×深さ102	(橋円形)・扇斗形	
SK44	W 340~N10	-	東西:100×南北:60×深さ25~33	(橋円形)・通台形	
SK45	W 310~N30	-	南北:162×東西:105×深さ48	(橋円形)・扇斗形	15世紀末~16世
河川跡					
遺構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SK3	W 310~320~N40~50	東西	-	-	
性付不整地構					
遺構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SX36	W 220~N0~S0~N10	-	南北:320×東西:80×深さ52	-	
SX41	W 310~N30~40	N~23°~E	長軸385×短軸35~90×深さ34~17	溝状・通台形	
ピット跡					
遺構番号	位置(グリッド)	方向	ピット数	建物規模(m)	時期
PI01	W 330~N10	東西	4基	5.85~600	
溝跡					
遺構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SD4	W 300~N20~30	N~10°~E	長さ[5.70]×幅0.70~0.98×深さ5.12~0.33	直線・幅広のU字形	古代以降
SD5	W 300~N20~30	N~10°~E	長さ[7.26]×幅0.58~0.99×深さ5.11~0.16	[はは]直線・幅広のU字形	
SD6	W 300~310~N20~30	N~10°~E	長さ[12.10]×幅0.50~0.50×深さ2.06~1.80	[はは]直線・扇斗形	
SD7	W 310~N20~30	N~15°~E~N~25°~W	長さ[13.50]×幅0.22~0.30×深さ2.10~1.12	狗の子状・通台形	
S28	W 220~340~N10~20	N~15°~E~N~90°~W	長さ[17.00]×幅0.01~1.50×深さ2.05~0.65	迷字状・通台形~U字形	近世
S29	W 220~340~N10~20	南北	長さ[11.00]×幅0.01~2.02×深さ0.69~1.13	直線・V字形~通台形	
SD10	W 320~340~N0~S0~N10	東西	長さ[7.00]×幅0.00~3.60×深さ5.12~0.82	直線・V字形~通台形	19世紀前半
SD11	W 320~340~N0~N50	(東西)	長さ[12.10]×幅0.20~0.80×深さ0.75	直線・通台形	
SD33	W 220~330~N10	東西	長さ[15.40]×幅0.20~0.50×深さ2.00~0.09	直線・幅広のU字形	
SD34	W 220~N0~S0~N10	N~85°~E	長さ[5.35]×幅0.20~0.48×深さ2.00~0.05	直線・U字形	
SD35	W 220~N10~20	N~14°~E	長さ[9.80]×幅0.30~0.75×深さ2.01~0.21	直線・通台形	古代~
SD48	W 220~340~N10	N~66°~E	長さ[6.05]×幅0.20~1.30×深さ2.00~0.31	直線・U字形	

第9表 道橋一覧表(2)

1B区・沿岸

翌・往路

道橋番号	位置(ダリヤF)	方向	幅員(m)	カマド	時間
S46	W 310・N30	N~8°・E	東西(4.75)×南北(4.70)×厚高0.29	北壁中央	8世紀後半
S51	W 300・N20~30	N~145°・E	東西5.10×南北5.10×厚高0.57	南北要素面造り	5世紀後半
S52	W 300~310・N30~40	N~19°・E	南北~東西(6.64)×南北(1.52)×厚高0.35	-	-
前川建物跡					
道橋番号	位置(ダリヤF)	主軸方位	柱間数	建物複数(m)	時間
S65	W 320・N20	N~11°・E	軒行2間×梁行2間	3.30~3.45×2.85~3.15	
S63	W 310~320・N30~30	(N~76°・W)	軒行2間×梁行2間以上	3.30~3.45×2.85~3.15	
土城					
道橋番号	位置(ダリヤF)	主軸方位	幅員(m)	平面形・断面形	時間
S49	W 320・N10~20	N~35°・W	長4085×幅848×深5.21	横円形・透方形	
S54	W 310・N30	N~22°・W	長4674×幅544×深5.17	横円形・透方形	
S55	W 310・N30	N~72°・E	長4061×幅50×深5.21	漏丸方形・U字形	
S56	W 310・N30	N~30°・W	長4058×幅116×深5.15~26	横円形・幅広のU字形	
竹林不明造跡					
道橋番号	位置(ダリヤF)	方向	幅員(m)	平面形・断面形	時間
S58	W 300・N0~N10	N~35°・E	長4065×幅160×深5.30~50	小透形・透方形	
渡跡					
道橋番号	位置(ダリヤF)	方向	幅員(m)	平面形・断面形	時間
S04	W 320~330・N10~20	長2~(20.0)×幅0.30~0.60×深5.19~0.35	直線・U字形		
S07	W 300~N20	N~14°・E	長2~(4.54)×幅0.50~0.75×深5.05~0.27	はざ直線・透方形	
小林状造跡群					
道橋番号	位置(ダリヤF)	方向	幅員(m)	平面形・断面形	時間
1~1	W 330~340・N0~50~N10	N~29°・W	長2.950×幅0.40~0.68×深2.412~0.32	わざかに直線・U字形	
1~2	W 340~N10~20	N~36°・W	長2~(16.0)×幅0.30~0.60×深2.608~0.33	やや軒行・U字形	
1~3	W 330~N0~50~N10	N~30°~35°・W	長2~(9.25)×幅0.38~0.50×深2.606~0.23	わざかに直線・U字形	
1~4	W 330~N0~50~N10	N~32°~37°・W	長2~(10.5)×幅0.21~0.54×深2.606~0.27	はざ直線・U字形	
1~5	W 330~N10	N~27°~32°・W	長2~(4.25)×幅0.21~0.34×深2.515~0.26	直線・U字形	
1~6	W 330~N0~50~N10	N~37°~42°・W	長2~(8.95)×幅0.22~0.34×深2.516~0.34	はざ直線・U字形	
1~7	W 330~340~N10~50~N10	N~35°~40°・W	長2~(17.10)×幅0.30~0.70×深2.625~0.35	わざかに屈曲・U字形	
1~8	W 330~N10	N~37°~42°・W	長2~(6.60)×幅0.18~0.28×深2.515	はざ直線・U字形	
1~9	W 330~N0~50~N10	N~30°~35°・W	長2~(10.4)×幅0.22~0.42×深2.610~0.23	はざ直線・U字形	
1~10	W 330~N10	N~29°~34°・W	長2~(6.0)×幅0.18~0.30×深2.606~0.18	はざ直線・U字形	
1~11	W 330~N0~50~N20	N~27°~32°・W	長2~(1.00)×幅0.18~0.30×深2.611~0.22	直線・U字形	
1~12	W 320~330~N0~N10	N~36°~37°・W	長2~(9.60)×幅0.22~0.34×深2.519~0.20	やや軒行・U字形	
1~13	W 320~330~N0~50~N20	N~35°~36°・W	長2~(16.50)×幅0.35~0.60×深2.617~0.24	はざ直線・U字形	
1~14	W 320~330~N10~N20	N~36°~37°~38°~39°・W	長2~(8.50)×幅0.29~0.35×深2.517~0.26	はざ直線・U字形	
1~15	W 320~330~N10~N20	N~34°~35°~36°~37°~38°~39°~40°~41°~42°~43°~44°~45°~46°~47°~48°~49°~50°~51°~52°~53°~54°~55°~56°~57°~58°~59°~510°~511°~512°~513°~514°~515°~516°~517°~518°~519°~520°~521°~522°~523°~524°~525°~526°~527°~528°~529°~530°~531°~532°~533°~534°~535°~536°~537°~538°~539°~540°~541°~542°~543°~544°~545°~546°~547°~548°~549°~550°~551°~552°~553°~554°~555°~556°~557°~558°~559°~560°~561°~562°~563°~564°~565°~566°~567°~568°~569°~570°~571°~572°~573°~574°~575°~576°~577°~578°~579°~580°~581°~582°~583°~584°~585°~586°~587°~588°~589°~590°~591°~592°~593°~594°~595°~596°~597°~598°~599°~510°~511°~512°~513°~514°~515°~516°~517°~518°~519°~5100°~5110°~5120°~5130°~5140°~5150°~5160°~5170°~5180°~5190°~51000°~51100°~51200°~51300°~51400°~51500°~51600°~51700°~51800°~51900°~510000°~511000°~512000°~513000°~514000°~515000°~516000°~517000°~518000°~519000°~5100000°~5110000°~5120000°~5130000°~5140000°~5150000°~5160000°~5170000°~5180000°~5190000°~51000000°~51100000°~51200000°~51300000°~51400000°~51500000°~51600000°~51700000°~51800000°~51900000°~510000000°~511000000°~512000000°~513000000°~514000000°~515000000°~516000000°~517000000°~518000000°~519000000°~5100000000°~5110000000°~5120000000°~5130000000°~5140000000°~5150000000°~5160000000°~5170000000°~5180000000°~5190000000°~51000000000°~51100000000°~51200000000°~51300000000°~51400000000°~51500000000°~51600000000°~51700000000°~51800000000°~51900000000°~510000000000°~511000000000°~512000000000°~513000000000°~514000000000°~515000000000°~516000000000°~517000000000°~518000000000°~519000000000°~5100000000000°~5110000000000°~5120000000000°~5130000000000°~5140000000000°~5150000000000°~5160000000000°~5170000000000°~5180000000000°~5190000000000°~51000000000000°~51100000000000°~51200000000000°~51300000000000°~51400000000000°~51500000000000°~51600000000000°~51700000000000°~51800000000000°~51900000000000°~510000000000000°~511000000000000°~512000000000000°~513000000000000°~514000000000000°~515000000000000°~516000000000000°~517000000000000°~518000000000000°~519000000000000°~5100000000000000°~5110000000000000°~5120000000000000°~5130000000000000°~5140000000000000°~5150000000000000°~5160000000000000°~5170000000000000°~5180000000000000°~5190000000000000°~51000000000000000°~51100000000000000°~51200000000000000°~51300000000000000°~51400000000000000°~51500000000000000°~51600000000000000°~51700000000000000°~51800000000000000°~51900000000000000°~510000000000000000°~511000000000000000°~512000000000000000°~513000000000000000°~514000000000000000°~515000000000000000°~516000000000000000°~517000000000000000°~518000000000000000°~519000000000000000°~5100000000000000000°~5110000000000000000°~5120000000000000000°~5130000000000000000°~5140000000000000000°~5150000000000000000°~5160000000000000000°~5170000000000000000°~5180000000000000000°~5190000000000000000°~51000000000000000000°~51100000000000000000°~51200000000000000000°~51300000000000000000°~51400000000000000000°~51500000000000000000°~51600000000000000000°~51700000000000000000°~51800000000000000000°~51900000000000000000°~510000000000000000000°~511000000000000000000°~512000000000000000000°~513000000000000000000°~514000000000000000000°~515000000000000000000°~516000000000000000000°~517000000000000000000°~518000000000000000000°~519000000000000000000°~5100000000000000000000°~5110000000000000000000°~5120000000000000000000°~5130000000000000000000°~5140000000000000000000°~5150000000000000000000°~5160000000000000000000°~5170000000000000000000°~5180000000000000000000°~5190000000000000000000°~51000000000000000000000°~51100000000000000000000°~51200000000000000000000°~51300000000000000000000°~51400000000000000000000°~51500000000000000000000°~51600000000000000000000°~51700000000000000000000°~51800000000000000000000°~51900000000000000000000°~510000000000000000000000°~511000000000000000000000°~512000000000000000000000°~513000000000000000000000°~514000000000000000000000°~515000000000000000000000°~516000000000000000000000°~517000000000000000000000°~518000000000000000000000°~519000000000000000000000°~5100000000000000000000000°~5110000000000000000000000°~5120000000000000000000000°~5130000000000000000000000°~5140000000000000000000000°~5150000000000000000000000°~5160000000000000000000000°~5170000000000000000000000°~5180000000000000000000000°~5190000000000000000000000°~51000000000000000000000000°~51100000000000000000000000°~51200000000000000000000000°~51300000000000000000000000°~51400000000000000000000000°~51500000000000000000000000°~51600000000000000000000000°~51700000000000000000000000°~51800000000000000000000000°~51900000000000000000000000°~510000000000000000000000000°~511000000000000000000000000°~512000000000000000000000000°~513000000000000000000000000°~514000000000000000000000000°~515000000000000000000000000°~516000000000000000000000000°~517000000000000000000000000°~518000000000000000000000000°~519000000000000000000000000°~5100000000000000000000000000°~5110000000000000000000000000°~5120000000000000000000000000°~5130000000000000000000000000°~5140000000000000000000000000°~5150000000000000000000000000°~5160000000000000000000000000°~5170000000000000000000000000°~5180000000000000000000000000°~5190000000000000000000000000°~51000000000000000000000000000°~51100000000000000000000000000°~51200000000000000000000000000°~51300000000000000000000000000°~51400000000000000000000000000°~51500000000000000000000000000°~51600000000000000000000000000°~51700000000000000000000000000°~51800000000000000000000000000°~51900000000000000000000000000°~510000000000000000000000000000°~511000000000000000000000000000°~512000000000000000000000000000°~513000000000000000000000000000°~514000000000000000000000000000°~515000000000000000000000000000°~516000000000000000000000000000°~517000000000000000000000000000°~518000000000000000000000000000°~519000000000000000000000000000°~5100000000000000000000000000000°~5110000000000000000000000000000°~5120000000000000000000000000000°~5130000000000000000000000000000°~5140000000000000000000000000000°~5150000000000000000000000000000°~5160000000000000000000000000000°~5170000000000000000000000000000°~5180000000000000000000000000000°~5190000000000000000000000000000°~51000000000000000000000000000000°~51100000000000000000000000000000°~51200000000000000000000000000000°~51300000000000000000000000000000°~51400000000000000000000000000000°~51500000000000000000000000000000°~51600000000000000000000000000000°~51700000000000000000000000000000°~51800000000000000000000000000000°~51900000000000000000000000000000°~510000000000000000000000000000000°~511000000000000000000000000000000°~512000000000000000000000000000000°~513000000000000000000000000000000°~514000000000000000000000000000000°~515000000000000000000000000000000°~516000000000000000000000000000000°~517000000000000000000000000000000°~518000000000000000000000000000000°~519000000000000000000000000000000°~5100000000000000000000000000000000°~5110000000000000000000000000000000°~5120000000000000000000000000000000°~5130000000000000000000000000000000°~5140000000000000000000000000000000°~5150000000000000000000000000000000°~5160000000000000000000000000000000°~5170000000000000000000000000000000°~5180000000000000000000000000000000°~5190000000000000000000000000000000°~51000000000000000000000000000000000°~51100000000000000000000000000000000°~51200000000000000000000000000000000°~51300000000000000000000000000000000°~51400000000000000000000000000000000°~51500000000000000000000000000000000°~51600000000000000000000000000000000°~51700000000000000000000000000000000°~51800000000000000000000000000000000°~51900000000000000000000000000000000°~510000000000000000000000000000000000°~511000000000000000000000000000000000°~512000000000000000000000000000000000°~513000000000000000000000000000000000°~514000000000000000000000000000000000°~515000000000000000000000000000000000°~516000000000000000000000000000000000°~517000000000000000000000000000000000°~518000000000000000000000000000000000°~519000000000000000000000000000000000°~5100000000000000000000000000000000000°~5110000000000000000000000000000000000°~5120000000000000000000000000000000000°~5130000000000000000000000000000000000°~5140000000000000000000000000000000000°~5150000000000000000000000000000000000°~5160000000000000000000000000000000000°~5170000000000000000000000000000000000°~5180000000000000000000000000000000000°~5190000000000000000000000000000000000°~51000000000000000000000000000000000000°~51100000000000000000000000000000000000°~51200000000000000000000000000000000000°~51300000000000000000000000000000000000°~51400000000000000000000000000000000000°~51500000000000000000000000000000000000°~51600000000000000000000000000000000000°~51700000000000000000000000000000000000°~51800000000000000000000000000000000000°~51900000000000000000000000000000000000°~510000000000000000000000000000000000000°~511000000000000000000000000000000000000°~512000000000000000000000000000000000000°~513000000000000000000000000000000000000°~514000000000000000000000000000000000000°~515000000000000000000000000000000000000°~5160000000000			

第10表 道構一覧表(3)

1区区画 小屋と道構		位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	時期
B-2	W310・N30	N-82'-W		長さ2.35×幅0.20~0.30×深さ0.12~0.36	直線・U字形	
B-3	W300・N20~N30	N-83'-W	長さ2.15×幅0.20~0.30×深さ0.10~0.58	やや蛇行・U字形		
B-4	W300・N20~N30	N-83'-W	長さ2.05×幅0.20~0.30×深さ0.07~0.53	やや蛇行・U字形		
B-5	W300・N20~N30	N-80'-W	長さ2.15×幅0.25~0.48×深さ0.07~0.20	やや蛇行・U字形		
B-6	W310・N20~N30	N-80'-W	長さ4.00×幅0.20~0.30×深さ0.11~0.38	はざれ縫・U字形		
B-7	W310・N20~N30	N-18'-W	長さ2.60×幅0.20~0.25×深さ0.10~0.45	はざれ縫・U字形		
B-8	W310・N20~N30	N-30'-W	長さ1.90×幅0.20~0.25×深さ0.07~0.13	はざれ縫・U字形		
B-9	W310・N20~N30	N-40'-W	長さ2.75×幅0.20~0.35×深さ0.04~0.05	直線・(U字形)		
B-10	W310・N20~N30	N-42'-W	長さ1.90×幅0.20~0.30×深さ0.05~0.13	はざれ縫・U字形		
B-11	W310・N20~N30	N-41'-W	長さ3.20×幅0.20~0.25×深さ0.05~0.07	はざれ縫・(U字形)		
B-12	W310・N20~N30	N-8'-E	長さ2.75×幅0.25~0.32×深さ0.07	直線・(U字形)		
B-13	W310・N20~N30	N-30'-W	長さ5.00×幅0.20~0.30×深さ0.05	直線・(U字形)		
B-14	W310・N20~N30	N-31'-W	長さ5.00×幅0.20~0.34×深さ0.02~0.05	直線・(U字形)		
V-1	W300・N30	東西		長さ0.75×幅0.22×深さ0.06	直線・(U字形)	
V-2	W300・N30	N-80'-W	長さ2.10×幅0.20~0.35×深さ0.08~0.10	はざれ縫・U字形		
V-3	W300・N30	N-75'-W	長さ3.10×幅0.20~0.35×深さ0.10~0.16	はざれ縫・U字形		
V-4	W300・N30	N-75'-W	長さ3.05×幅0.20~0.35×深さ0.05~0.10	はざれ縫・U字形		
V-5	W300・N20~N30	N-68'-W	長さ3.75×幅0.20~0.30×深さ0.14	はざれ縫・U字形		
V-6	W300・N20~N30	N-65'-W	長さ3.05×幅0.20×深さ0.05~0.11	はざれ縫・U字形		
V-7	W300・N20	N-65'-W	長さ2.10×幅0.20~0.30×深さ0.05~0.10	直線・U字形		
V-8	W300・N20	N-18'-W	長さ0.90×幅0.20~0.25×深さ0.03	はざれ縫・(U字形)		
V-9	W300・N20	N-62'-W	長さ1.60×幅0.20~0.30×深さ0.05	直線・U字形		
V-10	W300・N20	N-61'-W	長さ1.20×幅0.15~0.25×深さ0.10	はざれ縫・U字形		
V-11	W220・N20	N-74'-E	長さ1.05×幅0.20~0.30×深さ0.12~0.16	はざれ縫・U字形		

1B区区画

性地不明透徹

道構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	時期
SX39	W340・N8-S0-N10	N-44'-E	幅105×深5.35	不整地円形・開いたU字形	調査初期

1B区区画

性地不明透徹

道構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	時期
SX39	W340・N8-S0-N10	N-59'-E	長軸100×短軸80×深さ19	(不整地)・扇状	調査初期

1B区区画上面

堅六住別間

道構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	単	時期
S100	W300・N10~N30	-		小明	調査中期末期

堅七住

道構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	時期
S327	W310・N20	-	長軸52×短軸44×深さ2.5	不整地円形・U字形	調査中期末期
S300	W310・N40	-	長軸55×短軸45×深さ3.5	不整地円形・U字形	調査中期末期
S361	W310・N40	-	幅2.10×深さ3.35	はざれ縫・U字形	調査中期末期
S364	W310・N20~N30	-	幅42×深さ5.55	(不整地)・U字形	調査中期末期
S367	W310・N20	-	幅55×深さ5.42	不整地円形・U字形	調査中期末期

性地不明透徹

道構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	時期
S362	W310・N30	-	南北380×東西60×厚さ2.4	不整地・帶状	
S365	W300・N30	-	東西450×南北70×掘り込み範囲長軸45×短軸35×深さ3.17	不整地	
S382	W310・N30	-	南北20×東西55×厚さ2.4	不整地・帶状	

1B区区画中位

土坑

道構番号	位置(グリッド)	長軸方向	規模(m)	平面形・断面形	時期
SK04	W340・N8-S0-N10	N-85'-W	長軸105×短軸82×深さ2.8	不整地円形・扇状	
SK90	W330・N10	N-25'-E	長軸70×短軸65×深さ2.5	五角形・扇形	
SK97	W320・N10	-	幅125×深さ2.44	不整地円形・扇形	調査中期末期
SK106	W320・N10	-	幅20×深さ2.20	はざれ縫・通水形	調査中期末期
SK111	W320・N10~N20	N-75'-W	長軸90×短軸76×深さ2.48	不整地円形・円錐形～フラスコ状	調査中期末期

性地不明透徹

道構番号	位置(グリッド)	方向	規模(m)	平面形・断面形	時期
S363	W310・N20	-	長軸90×短軸68×傾土の厚さ2.4	傾円形・扇?	調査後期初期
S366	W300・N30	-	東西120×南北60	-	
S368	W310・N30	-	南北100×東西70×南北100×厚さ2.10	不整地	
S399	W310・N30	-	20×15(石器石器分布範囲)	-	
SX114	W220・N20	N-18'-W	長軸145×短軸96×深さ5.90	不整地円形・フラスコ状～瓶鉢状	

第11表 道構一覧表(4)

1区区層 斜面付壁面		位置(グリッド)	長軸方位	ピット数	建物規格(m)	時間
造構番号		S80129	W310・N30	N-18°-E	8本(亀甲形)	3.80×1.00
土坑						
造構番号	位置(グリッド)	長軸方位	規模(cm)	平面形、断面形	時間	
SK72	W300・N20	-	東西(80)×南北(70)×深さ32	(掘円形)-迷宮形	調査中削除	
SK74	W300・N20	N°2°-W	長軸68×短軸55×深さ18	掘円形、迷宮形		
SK75	W300・N20	-	長軸68×短軸55×深さ17	(はざ形)-幾状		
SK76	W300・N20	N°25°-E	長軸65×短軸45×深さ29	掘円形、迷宮形		
SK78	W300・N20	N°54°-W	長軸105×短軸60×深さ37	(掘円形)-不整形		
SK79	W300・N20-30	N°50°-E	長軸105×短軸70×深さ20	掘円形、幅広のU字形	調査中削除	
SK81	W300・N20	-	長軸100×短軸35	(はざ形)-フラスク状	調査中削除	
SK82	W300・N20-30	N°13°-E	長軸115×短軸80×深さ32	掘円形、U字形		
SK83	W300・N20-30	-	長軸70×深さ23	(はざ形)-U字形		
SK85	W310・N30	-	長軸150×深さ45	(はざ形)-フラスク状	調査中削除	
SK88	W310・N30	N°87°-E	長軸95×短軸92×深さ25	掘円形、迷宮形	調査中削除	
SK91	W300・N30	-	長軸115×短軸100×深さ28	(はざ形)-幅広のU字形		
SK92	W300・N30	N°65°-W	長軸95×短軸75×深さ20	掘円形、幅広のU字形	調査中削除	
SK93	W300・N20-30	-	長軸73×深さ27	(はざ形)-フラスク状		
SK94	W300・N20	N°87°-W	長軸150×短軸122×深さ25	不整形円形-幅広のU字形	調査中削除	
SK95	W310・N30	N°45°-E	長軸150×短軸123×深さ80	(掘円形)-フラスク状	調査中削除	
SK96	W300・N20-30	N°4°-E	長軸115×短軸100×深さ28	調丸形、迷宮形		
SK98	W310・N30	N°71°-E	長軸108×短軸70×深さ20	(掘円形)-U字形		
SK101	W300・N20-30	-	南北(72)×東西(60)×深さ29	(円形)と(掘円形)-U字形		
SK102	W300・N20-30	N°20°-W	長軸160×短軸80×深さ20	掘円形、迷宮形		
SK104	W310・N20-30	-	長軸170×深さ70	(はざ形)-フラスク状	調査中削除	
SK105	W310・N20	-	不明×深さ40	(円形)と(掘円形)-迷宮形	調査中削除	
SK107	W310・N20-30	-	長軸110×深さ56	不整形円形-フラスク状	調査中削除	
SK108	W310-320・N20-30	-	長軸110×深さ54	(はざ形)-フラスク状	調査中削除	
SK109	W310・N30	-	長軸65×深さ25	迷宮形、迷宮形		
SK112	W310・N20-30	-	長軸90×深さ20	(はざ形)-幅広のU字形	調査中削除	
SK113	W310・N30	-	長軸65×深さ31	(はざ形)-U字形		
SK115	W310・N30	-	長軸70×深さ22	(はざ形)-扇形		
SK116	W320・N30	-	北東(80)×北西(80)×南北(85)×深さ15	(円形)と(掘円形)-幾状		
SK117	W320・N20	N°42°-W	長軸83×短軸72×深さ23	掘円形、U字形		
SK130	W320・N20	N°50°-W	長軸98×短軸72×深さ25	(掘円形)-幅広のU字形		
SK332	W320・N20	-	長軸55×深さ23	(はざ形)-U字形		
SK133	W310-320・N20-30	N°76°-W	長軸100×短軸90×深さ17	(掘円形)-幅広のU字形		
SK134	W310・N20-30	-	長軸65×深さ20	(はざ形)-迷宮形		
SK135	W310・N30	-	長軸65×深さ29	(はざ形)-迷宮形		
SK141	W310・N40	-	長軸60×深さ35	(はざ形)-U字形	調査中削除	
SK142	W310・N40	N°44°-W	北西(96)×北東(80)×南北(30)×深さ25	(掘円形)-U字形		
SK143	W310・N40	-	東西(134)×南北(98)×深さ24	不明-(幅広のU字形)	調査中削除	
柱穴不直通路						
造構番号	位置(グリッド)	方向	規模(cm)	平面形、断面形	時間	
SN39	W320-300・N10	N°5°-E	長軸448×短軸60-285×深さ35-70	不整形、不整形	調査後削除	
1C区区層 土坑						
造構番号		位置(グリッド)	長軸方位	規模(cm)	平面形、断面形	時間
SK130	W310・S20	N°68°-E	長軸144×短軸125×深さ32	掘円形、幅広のU字形		
SK138	W310・S20	-	南北(92)×東西(60)×深さ12	(掘円形)と(掘円形)-U字形		
溝跡						
造構番号	位置(グリッド)	方向	規模(cm)	平面形、断面形	時間	
SD127	W300-310・S20	N°98°-W	狭長形(9.10)×幅0.05-1.30×深さ0.14-0.21	11号直轄、幅広の迷宮形		
1C区区層 溝跡						
造構番号		位置(グリッド)	方向	規模(cm)	平面形、断面形	時間
SD140	W300-310・S20	N°81°-W	狭長形(8.20)×幅0.05-1.06×深さ0.13-0.30	11号直轄、幅広の迷宮形		
水田跡						
造構番号	位置(グリッド)	方向	規模(cm)	平面形、断面形	時間	
SK145	W300・S20	-	南北(13)×東西(72)×深さ5-12	(掘円形)-風状		
SK146	W310・S20	-	南北(60)×東西(45)×深さ7	不明-扇狀		
SK147	W300・S20	南北	長軸55×短軸46×深さ41	掘円形、U字形		
1C区区層 堅穴住居跡						
造構番号		位置(グリッド)	方向	規模(cm)	平面形、断面形	時間
SI144	W300-310・S20-30	N°16°-E	東西(4.5)×南北(4.30)	南北中央	9世紀前半	
土坑						
造構番号		位置(グリッド)	長軸方位	規模(cm)	平面形、断面形	時間
SK145	W300・S20	-	南北(13)×東西(72)×深さ5-12	(掘円形)-風状		
SK146	W310・S20	-	南北(60)×東西(45)×深さ7	不明-扇狀		
SK147	W300・S20	南北	長軸55×短軸46×深さ41	掘円形、U字形		

第12表 道構一覧表(5)

1C 区画層 河川層					
道構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SAS132	W300~310・S30	東西	-	-	-
小領域道構群					
道構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
I-1	W300~310・S20	N~77°~W	長さ900m × 幅0.16~0.30m × 深さ5.0m~0.11	やや屈曲・U字形	-
I-2	W300・S20	N~65°~W	長さ640m × 幅0.25~0.60m × 深さ5.0m~0.07	(は)直線・(U字形)	-
I-3	W300~310・S20	N~75°~W	長さ220m × 幅0.26~0.36m × 深さ5.0m~0.13	わざずに済曲・U字形	-
B-1	W300・S20	N~89°~E	長さ370m × 幅0.20~0.38m × 深さ5.0m~0.11	やや右行・U字形	-
B-2	W300~310・S20	N~86°~W	長さ830m × 幅0.20~0.38m × 深さ5.0m~0.05	わざずに左行・(U字形)	-
B-3	W300・S20	N~88°~W	長さ385m × 幅0.22~0.28m × 深さ5.0m~0.05	わざずに左行・(U字形)	-
B-4	W300・S20	N~81°~W	長さ305m × 幅0.34~0.42m × 深さ5.0m~0.05	(は)直線・(U字形)	-
B-5	W310・S20	N~41°~E	長さ135m × 幅0.18~0.25m × 深さ5.0m~0.08	直線・U字形	-
B-6	W300・S30	N~37°~E	長さ235m × 幅0.18~0.28m × 深さ5.0m~0.08	(は)直線・(U字形)	-
B-7	W300・S30	N~30°~E	長さ115m × 幅0.15m × 深さ5.0m~0.04	直線・(U字形)	-
B-8	W300・S30	N~26°~E	長さ350m × 幅0.15~0.20m × 深さ5.0m~0.06	わざずに左行・(U字形)	-
B-9	W310・S20	N~30°~E	長さ155m × 幅0.16~0.28m × 深さ5.0m~0.03	直線・(U字形)	-
B-10	W300・S30	N~28°~W	長さ320m × 幅0.14~0.22m × 深さ5.0m~0.08	(は)直線・(U字形)	-
B-11	W300・S30	N~26°~W	長さ320m × 幅0.18~0.22m × 深さ5.0m~0.08	(は)直線・(U字形)	-
B-12	W300~S20~30	N~33°~W	長さ490m × 幅0.10~0.22m × 深さ5.0m~0.07	やや屈曲・(U字形)	-
B-13	W300・S30	N~34°~W	長さ270m × 幅0.15~0.25m × 深さ5.0m~0.06	(は)直線・(U字形)	-
1D 区画層 河川層					
道構番号	位置(グリッド)	直軸方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SE148	W360~370・N30~40	-	付近は不明	(は)円形・圓筒形	-
土坑					
道構番号	位置(グリッド)	直軸方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SK149	W360~N40	N~10°~E	長軸184m × 短軸130m × 深さ5.13	楕円形・幅広のU字形	9世紀前半以降
柱穴・小窓遺構					
道構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SX145	W360~N50	(N~79°~W)	東西320m × 南北230m × 深さ5.15	(柱穴)楕円形・幅広のU字形・不明	-
溝跡					
道構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SD147	W360~370~N30~40	N~84°~E~N~4°~W	南北長1300m × 幅210~270m × 深さ0.8	溝状・不明	-
2A 区画層 土坑					
道構番号	位置(グリッド)	直軸方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SK153	W410~S60	-	東西212m × 南北68m × 深さ5.27	(楕円形)圓筒形・楕円連合形	-
SK154	W400~S60	N~64°~E	長軸110m × 短軸55~80m × 深さ5.30	(不規則形)・楕円状	-
SK155	W410~S60	-	付近220m × 深さ5.13	(は)円形・U字形	-
SK156	W410~S60	N~2°~W	長軸70m × 短軸50m × 深さ5.18	不規則形・U字形	-
河川層					
道構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SR157	W250~400・S50~70	東西	-	-	-
SR158	W410~S40~50	-	-	-	-
SR160	W370~S70	(東西)	-	-	-
2B 区画層 河川層					
道構番号	位置(グリッド)	方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SR159	W300~S20~30	南北	-	-	-
2C 区画層 柱穴・建物跡					
道構番号	位置(グリッド)	直軸方向	柱間数	建物規模(m)	時期
SB1	W290~300~N10~20	南北	軒行2間 × 延行1間	3.30×19.5~210	-
SB2	W300~N10	N~89°~E	軒行2間 × 延行1間	5.80×255	-
SB3	W300~N10	N~88°~E	軒行3間 × 延行1間	4.30~4.35×285~300	-
SB4	W300~N10	N~89°~E	軒行3間 × 延行1間	5.70×375	-
SB5	W300~310~N0~50~S10	N~3°~E	軒行2間 × 延行1間	4.05×24.0	-
土坑					
道構番号	位置(グリッド)	直軸方向	範囲(m)	平面形・断面形	時期
SK163	W290~300~N10~30	N~74°~W	長軸145m × 短軸108m × 深さ5.22	楕円形・U字形	-
SK164	W290~N10	N~86°~E	長軸80.2m × 短軸320m × 深さ5.82	楕円形・連合形	-
SK165	W290~N20	N~10°~E	長軸68.8m × 短軸64m × 深さ5.8	楕円形・圓柱	10世紀前半
SK166	W300~N10	-	北西~東東50m × 北南~西(25)m × 深さ5.14	(楕円形)圓柱形・U字形	-
SK170	W300~N10	-	付近220m × 深さ5.12	(は)円形・連合形	-